

# Orientalmotor

オリエンタルモーターレポート 2020



オリエンタルモーター株式会社  
〒110-8536 東京都台東区東上野4-8-1  
<https://www.orientalmotor.co.jp>  
本レポートに関するお問い合わせ先  
広報室  
TEL.03-6744-0911 FAX.03-5826-2571



20U 5K 13009 G G-138

# Growing Your Motion

いつでも、どこでも、「動き」のニーズに応える ために。

私たちオリエンタルモーターは、  
産業、医療、食品、交通など、  
さまざまな場面でさまざまな動きが求められるなか、  
いつでもどこでも短納期で、すべてを最適な形でお届けできる「標準品」と  
グローバルにサポートするサービスを進化させ続けることで、  
美しい地球環境を持続させ、  
社会や産業の発展に常に関わり続けています。

この冊子は、いつもお客様と共に世の中の動きに関わり続けていく  
オリエンタルモーターグループの  
さまざまな取り組みを紹介しています。



- 04 トップメッセージ
- 06 街の中のオリエンタルモーター
  - クローズアップ 1
- 08 「動き」を進化させ続けた70年
  - クローズアップ 2
- 10 求められる「モーション」を実現するために
  - クローズアップ 3
- 14 生き生き職場と生産性向上を目指して  
～ISO 45001の取得～
- 16 マネジメント
- 18 技術・製品
- 22 グローバルな販売体制
- 24 生産性と品質を高めるために
- 26 地球環境のために
- 30 働きがいのある職場づくり
- 36 社会との共生
- 38 財務・非財務ハイライト
- 39 会社概要・拠点一覧

## 編集方針

オリエンタルモーターは、「オリエンタルモーターレポート」を発行し、社会のニーズに応え、価値を生み出す持続的な取り組みを報告しています。  
全社で取り組んだトピックスをクローズアップし、お客様、取引先様、地域社会の皆様、社員など、幅広いステークホルダーの皆様にご覧いただき、当社グループの活動をわかりやすくお伝えするよう心がけています。

## 報告範囲

オリエンタルモーターおよび連結関連会社を基本としています。なお、環境報告関連データは、オリエンタルモーターの国内拠点を対象とし、異なる場合はその旨を明記しています。

## 報告期間

2019年4月1日～2020年3月31日  
(一部この期間外の情報も含まれます)

## 発行日

2020年7月9日

## 表紙について

オリエンタルモーターが活躍する架空の街です。  
製品がどんなところにありそうか想像してみてください。  
イラスト：梁川友世

# 70年の節目をきっかけにその先へ

オリエンタルモーターはお客様のニーズに合ったモーションとそのコントロールシステムをご提案することで、社会や産業界の課題解決に貢献することを目指しています。社員の安全確保と経営の両立を実現する中で、全社一丸となり事業を持続的に発展させることで、社会に対する責任を果たしてまいります。

## モーションシステムで 産業界に貢献を

2019年度はオリエンタルモーターがモーションシステムメーカーとしてスタートした1年です。産業界で急速に進む自動化ニーズに応えるため、サービス面では多軸制御システムの選定サポート、サンプルプログラムの提供などを開始しました。技術面では社内プロジェクトにより短期間で新製品のプロトタイプが立ち上げられました。2020年度もこの流れを止めることなくスピード感をもって製品開発を進め、サービスの改善・拡充に取り組んでいきます。オリエンタルモーターが進めるモーションシステムは、簡単に多軸制御システムを構築することで、あらゆる「動き」を実現させることが可能です。自動化・省人化を検討するもののロボット活用技術の面で自社開発が難しい場合にお役に立つと考えています。オリエンタルモーターは最適な「動き」のご提案と、ご提供前から導入後までの充実したサポートによって、産業界全体の持続的な発展に貢献することを目指しています。

## 社員の安全確保と事業継続を 両立させる

2019年度の第4四半期は世界中で新型コロナウイルスの感染拡大という事態が発生しました。感染拡大を防止するため、企業にさまざまな対応が求められる中、社員、お客様、取引先様、地域の皆様の安全を第一に考え、各地域の状況を踏まえた上で、対策を講じ事業継続と社会経済活動の維持に取り組んでいます。また、モーターはあらゆる産業を支え、人々の生活に欠かせないものとして、不測の事態の中でも生産活動を継続してきました。今後も、お客様への安定供給の維持、取引先様との供給体制をさらに強化していきます。

社員が安心して生き生きと働ける職場づくりは、全てに優先される重要な活動です。2019年度は、相馬事業所がISO 45001認証を取得しました。今後は、相馬事業所で蓄えたノウハウを全事業所に展開することで、全社で労災事故ゼロの安全な職場環境を目指していきます。

## 全社一丸となり 社会に対する責任を果たす

2020年2月にオリエンタルモーターは設立70周年を迎えました。多くのお客様、取引先様、地域社会の皆様を支えることで、今日を迎えることができたことに対して、改めて厚く御礼申し上げます。設立70周年という節目に全社員が一度原点に立ち返り、何を変えていくか考え、行動し、未来につなげていく1年にしていきたいと考えています。また、医療機器や食品製造などのエッセンシャルサービスをはじめ、自動化・ロボット化などに対するメーカーとしての社会的責任を果たし、何があってもお客様への安定供給を続けること、部材を購入している取引先様との関係を継続していくこと、雇用を守り、地域とともに安全に事業を継続していくことがますます重要です。10年先、20年先も世界中で信頼され、新しい価値を創造し続けるよう、社会とともに持続的な成長を目指していきます。

代表取締役執行役員社長

川人英二



# たとえば、こんなところにも

「動き」に求められることは時代とともに変化・進化し続けています。

オリエンタルモーターは、時代のニーズに応えることで、人々の暮らし、モノづくりの現場、

社会のさまざまな場所で、課題を解決し価値を生み出しています。

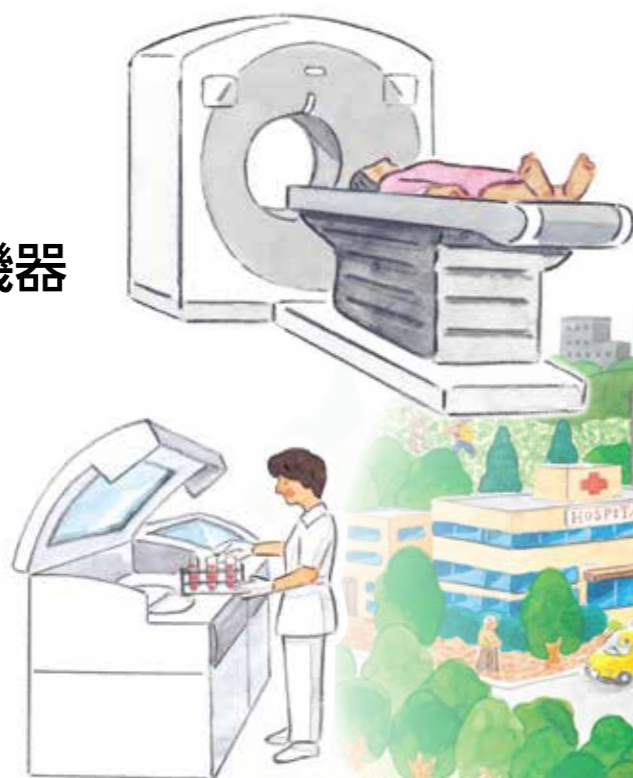
ここでは、オリエンタルモーターの製品が、たとえばどんなところで活躍しているのか、

その一部をご紹介します。



## 医療・分析機器

- ・ CT装置
- ・ MRI装置
- ・ 義歯製造装置
- ・ 血液分析装置
- ・ 電子顕微鏡
- ・ 薬剤分包機
- ・ レントゲン装置



## ファクトリーオートメーション

- ・ 紙折機
- ・ 検査機器
- ・ 成形機
- ・ 洗浄機
- ・ 電子部品製造装置
- ・ 搬送コンベア装置
- ・ 半導体製造装置
- ・ 無人搬送台車 (AGV)
- ・ 冷却装置



## 交通・金融機器

- ・ ATM
- ・ ETC
- ・ 計数機器
- ・ 自動改札機
- ・ 電車のシート回転装置
- ・ ホームドア



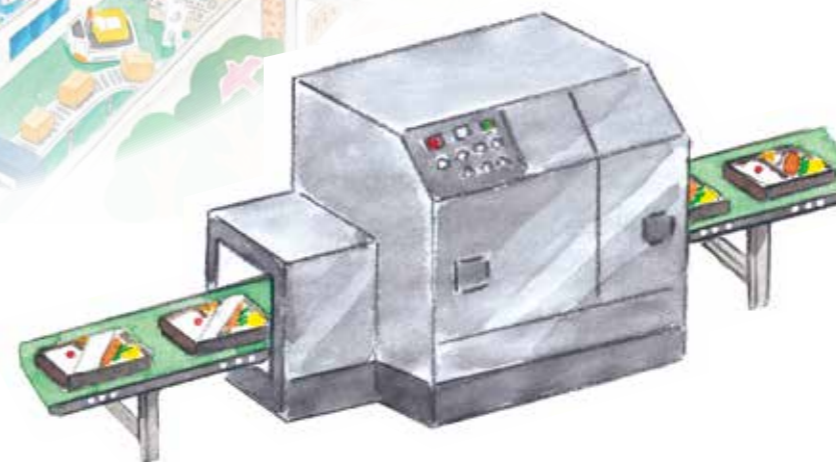
## 街なかで

- ・ アミューズメント施設や博物館などの展示、体験装置
- ・ 回転寿司高速レーン
- ・ 監視カメラ
- ・ セキュリティゲート
- ・ 太陽光発電
- ・ 電気自動車の充電スタンド
- ・ 風力発電
- ・ プラネタリウム



## 食品機械

- ・ 計量器
- ・ 食品加工装置
- ・ 水耕栽培ベッド
- ・ 精米機
- ・ 選別機
- ・ 播種機
- ・ 包装機



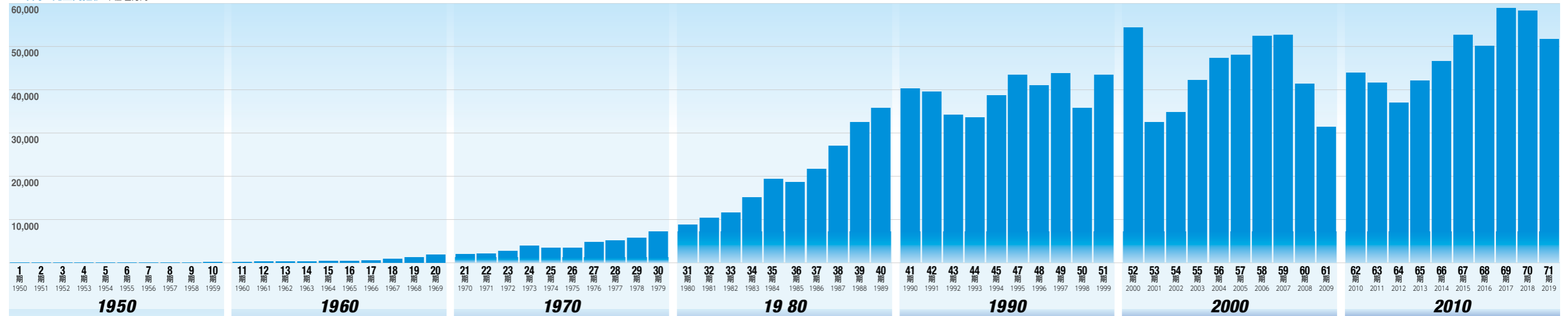


# 「動き」を進化させ続けた70年。 オリエンタルモーターは 2020年に設立70周年を迎えました。

オリエンタルモーターの歩みは、1950年の同期電動機（リアクションシンクロナスモーター）、誘導電動機、制御電動機を主力とする東洋電動機株式会社設立から始まります。その後、「動き」に求められるニーズが進化し続けた70年の間、オリエンタルモーターは常に最新の技術と最良のサービスが生み出す「動き」を提案することで、日本だけでなく世界中の経済、社会そして暮らしに価値を提供し続けています。

|                                   |   |  |   |  |  |   |                                     |
|-----------------------------------|---|--|---|--|--|---|-------------------------------------|
| <b>1940</b><br>単相 1/30 馬力同期電動機を開発 | <b>1966</b><br>AC小型標準モーターのロングセラーであるKシリーズを開発 | <b>1985</b><br>5相ステッピングモーターと制御回路をユニット化したUPDシリーズを開発 | <b>1999</b><br>クーリングモジュールを発売                | <b>2005</b><br>DC入力5相ステッピングモーターユニット CRKシリーズを発売 | <b>2013</b><br>バッテリー不要のアブソリュートセンサを搭載したステッピングモーターユニット AZシリーズを発売 | <b>2015</b><br>低消費電力・可変速プロペラファン EMRシリーズ発売     | <b>2017</b><br>コンパクト電動シリンダ DRシリーズ発売 |
| <b>1953</b><br>ファンモーターを開発         | <b>1976</b><br>ステッピングモーターを開発                | <b>1998</b><br>クローズドループステッピングモーターユニット QSTEPを開発     | <b>20 01</b><br>電動スライダ・シリンダの新商品 EZ limo を発売 | <b>2012</b><br>ブラシレスモーターユニット BMUシリーズを発売        | <b>2014</b><br>AC 小型標準モーター三相高効率インダクションモーター K1Sシリーズ発売           | <b>2016</b><br>脚取付ギヤヘッド・出力 0.4kwのブラシレスモーターを発売 |                                     |

70年間の売上高推移 単位:百万円



※1995年より決算時期を2月から3月に変更しました。1995年3月は1カ月決算でしたが、グラフには含んでいません。※1998年度から連結ベースの売上高となっています。

|                                     |   |                                       |                            |                                   |                           |                                 |                            |   |   |                               |                            |                           |                            |                             |                            |                              |                          |                            |                         |                           |                              |                           |                                 |  |
|-------------------------------------|---|---------------------------------------|----------------------------|-----------------------------------|---------------------------|---------------------------------|----------------------------|---|---|-------------------------------|----------------------------|---------------------------|----------------------------|-----------------------------|----------------------------|------------------------------|--------------------------|----------------------------|-------------------------|---------------------------|------------------------------|---------------------------|---------------------------------|--|
| <b>1885</b><br>東京日本橋で電気器具の製造・販売を始める | <b>1950</b><br>台東区小島町に「東洋電動機株式会社」を設立<br>1950年代の作業風景 | <b>1953</b><br>社名を「オリエンタルモーター株式会社」に改称 | <b>1957</b><br>総合カタログ第1号完成 | <b>1962</b><br>豊四季事業所(千葉県柏市) 操業開始 | <b>1969</b><br>高松事業所 操業開始 | <b>1974</b><br>鶴岡事業所・土浦事業所 操業開始 | <b>1978</b><br>アメリカに現地法人設立 | <b>1982</b><br>ドイツに現地法人、シンガポールに現地生産会社設立 | <b>1988</b><br>本社を東京上野に移転<br>柏事業所 操業開始<br>台湾に現地法人設立 | <b>1992</b><br>「New Motion」創刊 | <b>1995</b><br>鶴岡西事業所 操業開始 | <b>1996</b><br>相馬事業所 操業開始 | <b>1997</b><br>フランスに現地法人設立 | <b>2000</b><br>マレーシアに現地法人設立 | <b>2002</b><br>イタリアに現地法人設立 | <b>2004</b><br>中国(上海)に現地法人設立 | <b>2005</b><br>タイに現地法人設立 | <b>2009</b><br>つくば事業所 操業開始 | <b>2010</b><br>東京ショールーム | <b>2011</b><br>インドに現地法人設立 | <b>2012</b><br>高松国分寺事業所 操業開始 | <b>2016</b><br>スイスに現地法人設立 | <b>2017</b><br>子育てサポート企業として認定取得 | <b>2020</b><br>設立70周年<br>認定マーク「プラチナくるみん」 |
|-------------------------------------|---|---------------------------------------|----------------------------|-----------------------------------|---------------------------|---------------------------------|----------------------------|---|---|-------------------------------|----------------------------|---------------------------|----------------------------|-----------------------------|----------------------------|------------------------------|--------------------------|----------------------------|-------------------------|---------------------------|------------------------------|---------------------------|---------------------------------|--|

オリエンタルモーター株式会社  
ORIENTAL MOTOR CO., LTD.

つくば事業所

鶴岡西事業所

相馬事業所

東京ショールーム

高松国分寺事業所

# 求められる「モーション」を実現するために

モーターは、お客様が求める「モーション」を実現するための動力源です。オリエンタルモーターは、お客様にとって最適なモーターを提供するだけでなく、モーションシステムメーカーとしてお客様の求める「モーション」に対して提案することで、お客様の設計時間の短縮や生産性向上などの課題解決に貢献していきます。

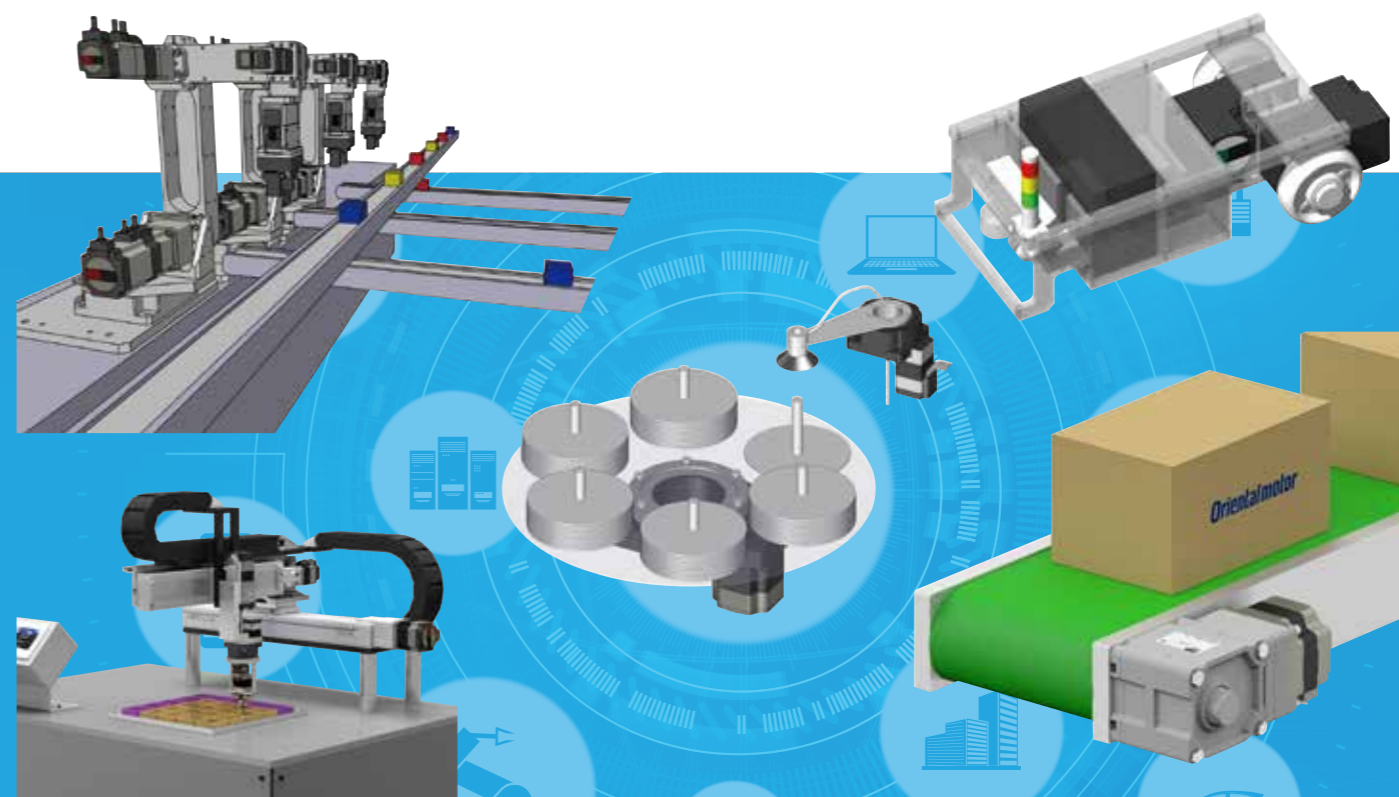
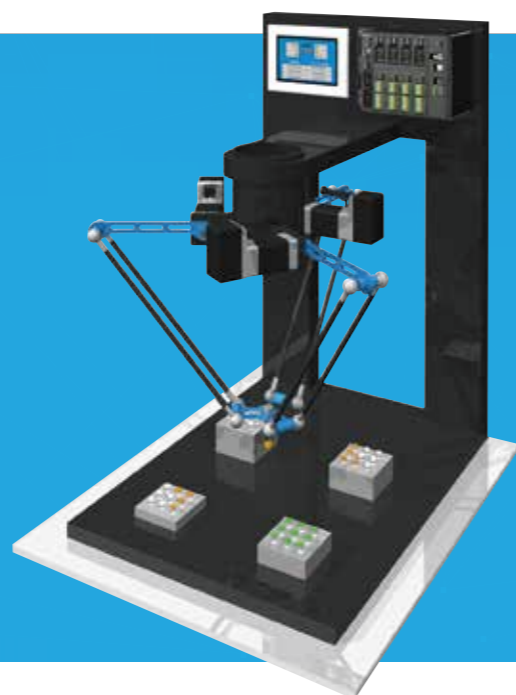
## さまざまな社会的背景によって促進する産業の自動化

労働人口の減少

生産性・品質の向上

AIやIoTの進化、普及

労働環境の改善



## 自動化を実現するモーションシステム

ニーズに合ったものを  
リーズナブルに短納期でお届け

社会の変化に伴って変わるニーズをいち早くとらえ、より高度な動きを実現するモーターや電動アクチュエータ、ギヤヘッド、ドライバ、ファンなどさまざまな製品を開発しています。また、いつでもどこでも短納期でリーズナブルに製品をお届けできるサービス・サポート体制を世界中で展開しています。

幅広い動きを実現する  
豊富なラインアップ

モーターや周辺機器の豊富なラインアップによって、求められるさまざまなモーションニーズに対応でき、使い勝手やインターフェースの共通化に貢献します。モーターが組み込まれる機構や周辺のシステムを提案することはもちろん、幅広い提案力でお客様の求めるモーションの実現に貢献します。

ビフォアからアフターまで  
すべてをワンストップ

設計段階や購入前から購入後のアフターサービスまで、お客様の状況に合わせて充実したサービスを提供します。

■ビフォア/アフターサービス

- ・ショールーム、展示会
- ・ライブ/WEBセミナー
- ・選定サービス
- ・WEBショップ
- ・問い合わせ対応
- ・検査対応、フィールドサービス等



# 求められる「モーション」を実現するために 2019年のAction

## Action 1

### ご提案する目線を モーターからお客様が求める 「モーション」へ



#### お客様が求める「モーション」をご提案

モーター単体の提案から、モーターの先にある機構のモーションやそれを制御するシステムを含めて提案する活動を強化しています。

#### 「モーション」を可視化するツールを活用

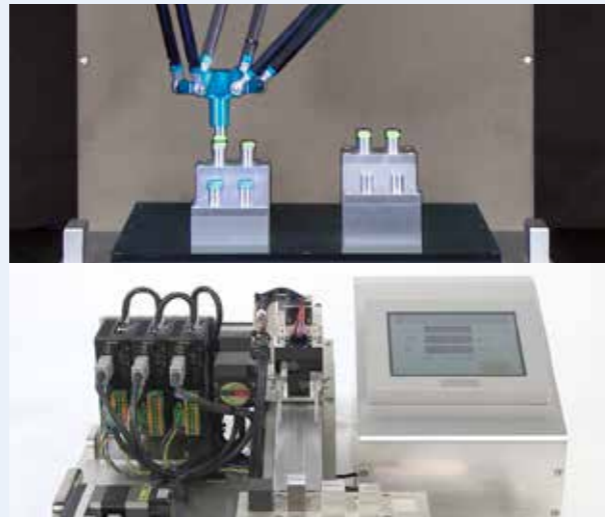
お客様が求める「モーション」を確実に把握するため、製品仕様を説明するだけでなく、デモ機やイラスト、WEBサイトで公開している動画などを用いた視覚的な紹介を多用します。

#### ロボットを自作するお客様への対応

世の中の自動化ニーズの高まりに伴い、多関節ロボットやスカルロボット、パラレルリンクロボットなどお客様が求める「モーション」も高度化しています。このような変化に対応するために、自作ロボットを検討しているお客様向けに選定サービスをスタートさせ、自動化・省人化のサポートをしています。

## Action 2

### 協業メーカーとの 連携により 幅広い提案を実現



#### 各メーカーとの連携によるラインアップ拡充

オリエンタルモーターと、協業メーカー製品との組み合わせによって、お客様が求める「モーション」を実現させる活動を実施しています。「モーション」の可能性が広がるよう、ギヤやアクチュエータなどをラインアップするメーカーとの関係を構築し、商品を企画、立ち上げています。

また、各メーカーのカタログやWEBサイトに、組み合わせ推奨モーターとしてオリエンタルモーター製品の掲載を進めています。

また、お客様の手間を削減するため、オリエンタルモーターと協業メーカーのギヤをアセンブリするサービスを展開し、使いやすさの向上を目指しています。

#### 上位制御機器メーカーと連携して モーターをコントロール

オリエンタルモーターは、さまざまなFAネットワーク商品を取り揃えてお客様の要求にえています。お客様がFAネットワークシステムを簡単に早く構築するためには、上位制御機器メーカーとの連携は不可欠です。そのため、国内だけでなく海外の上位制御機器メーカーや、工業用パソコン（IPC）メーカーも含めて、幅広く連携を強化しています。上位制御機器メーカーとの連携強化の一環として、商品発売前に相互接続テストなどを実施しています。これにより、お客様に安心してオリエンタルモーターを使っていただくことを目指しています。

## Action 3

### FAネットワークとの 接続をサポート



#### 上位制御機器との安心接続を実現

理想のモーションを実現するためには、モーターを制御するドライバや、そのドライバに指令を与える上位制御機器との設定・接続方法に関する知識が必要です。

オリエンタルモーターではこれまで培ってきた上位制御機器との接続ノウハウを活かし、製品のリリースに合わせて「セットアップマニュアル」を提供しています。

#### 充実したサポート

モーションシステム全体を把握し、可能な限り短時間でお客様の課題を解決します。WEBサイトで公開してい

る上位制御機器とのセットアップマニュアル等のコンテンツに加え、お客様ご相談センターやネットワークホットラインなどでもお問い合わせに対応しており、幅広いソリューションをお客様に提供します。

#### 進化するサポート

お客様をサポートする際は、動画によって使い方をナビゲーションしたり、ソリューション事例を提示したり、具体的にわかりやすいよう提案しています。お客様満足向上のため、サポートを常に進化させ続けていきます。

Next Action



あらゆるニーズに応える製品の拡充

オリエンタルモーターは、お客様のあらゆるモーションニーズに応えるために、製品をさらに拡充していきます。モーションと、それをコントロールするシステムをご提案するモーションシステムメーカーとしての活動を今後も強化していきます。

# 生き生き職場と生産性向上を目指して

## ～ ISO 45001の取得～

オリエンタルモーターは、労働安全衛生方針に基づいた取り組みを徹底することで、労災事故の発生件数を大幅に低減させてきましたが、労災事故ゼロの実現にはまだ至っていません。そこで、安全パトロールや労働安全衛生監査の指摘に対する対応（顕在的危険源の改善）に留まっていた取り組みを、全ての社員が災害リスクを想定（潜在的危険源）、可視化し、潜在的危険源を改善する形に進化させました。



## 全員参加で安全な職場をつくる～さまざまな取り組み、そして気づき～

### 危険に対する想像力と発想力を磨く



相馬事業所  
総務部  
総務課  
安全環境管理推進  
リーダー  
竹内 和彦

相馬事業所の管理責任者として、プロジェクトの進捗管理と事業所全体でのリスクアセスメント定着化に取り組みました。全ての社員がリスクアセスメントに取り組みやすいよう、また、シンプルな方法でできるように工夫を凝らしました。私自身も現場を注意深く見ることで、現場に潜む危険をイメージする想像力とそれを排除するための方策を見出す発想力が向上したと思います。

規格は「箱」であり、中身は自分たちで考えて入れていくものだと思っています。継続的な改善を実施することで、より安全な職場を構築していきます。

### 客観的に見ることで危険に気づく

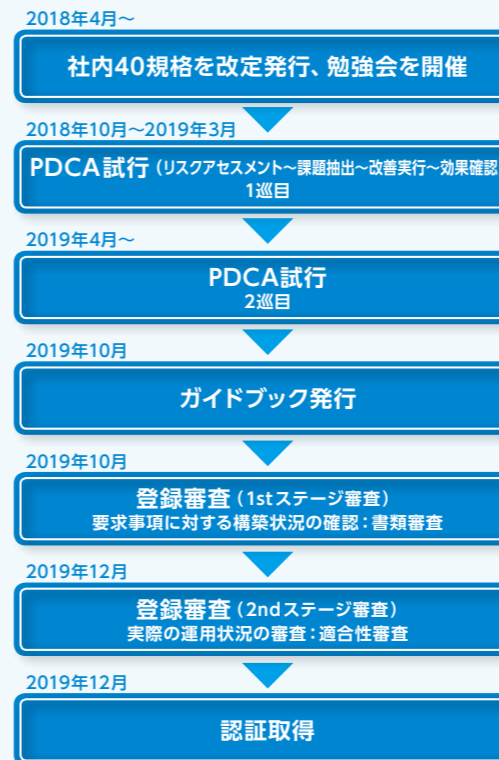


相馬事業所  
製造部  
モーター製造1課  
プレスグループ  
ラインアテンダント  
黒脛 修子

リスクアセスメントと、KYK（危険予知活動）の実践に取り組みました。KYKでは、日常的に行っている業務を客観的に見ることで、潜んでいる危険に改めて気づくことができました。これまでは安全衛生委員会やリーダーの指示に従う受け身の姿勢でしたが、社員みんなで職場に存在する危険とそのレベルを見積もり、数値化して優先順位をつけて改善していく活動を進めていく中で、自分自身の安全衛生に対する意識が大きく向上したと実感しています。さらに安全に対する知識を深めて活動を継続し、安全な職場の実現を目指したいです。

## 認証取得までのプロセス

### プロセスチャート



### プロセスの中でリスク管理の考え方が定着

認証取得までのプロセスの中で最も重要視したことは、全社の労働安全衛生におけるリスク管理の手法や考え方を、国際的な規格に準拠したものに变化させることでした。今回の相馬事業所におけるリスクアセスメント活動が、そのための活動体制構築の第1歩になったと考えています。また、リスクアセスメントをはじめとした課題管理や教育体制の構築などマネジメントシステムの定着のためには、規格の要求事項と諸活動のつながりを理解してもらうことも重要でした。そのため全規格の勉強会を開催したり、ISO 45001の要求事項を解説するガイドブックを作成するなどしました。また、これらを内部監査の場でも引用することで、社員への浸透を図るなど工夫しました。

その他ISO 45001では、全社員が参加し、協議することが重要視されていますが、相馬事業所では安全衛生委員会とともに昼食会の場も大きな役割を果たしていました。総務主催で開かれる昼食会にはさまざまな社員が参加し、多方面の意見を収集することができます。安全衛生面の意見の吸い上げとしても有効に活用でき、この場で収集した意見を安全衛生委員会で審議することにより、効果的な運用ができたと考えています。



つくば事業所  
製造統括部  
安全衛生担当  
黒岩 真司

## 認証取得は通過点。さらなる向上を目指す



相馬事業所  
所長  
木村 明宏

相馬事業所は、事業所の規模としても、モーターと駆動ドライバ回路を一貫生産していることから、他の事業所に展開するためのモデルとして最適だと考えていました。オリエンタルモーター全体が労働災害ゼロを目指すための試金石となりますので、大きなやりがいとプレッシャーを同時に感じながら、取り組みに着手しました。ISO 45001にはトップマネジメントが活動にコミットすることが求められています。そのため、中心になって活動する推進メンバーを選定するだけでなく、私自身も全社安全衛生事務局や事業所の管理責任者との連携を密にしながら、活動が事業所全体に広がるように注視してきました。

認証取得はゴールではなく通過点です。今回の取り組みによって、安全衛生委員会と安全管理者会議の連携強化、社員一人ひとりの職場におけるリスクに対する意識の変化など、労働災害予防における成果がいくつも得られました。まだ経験が足りない部分も見られます。今後は推進メンバーを増員し、PDCAサイクルをさらに回すことで、他の事業所の参考となる労働安全衛生活動を定着化していきます。

### オリエンタルモーターをもっと良い会社に

相馬事業所ではISO 45001導入後、49件のリスクアセスメントを実施し、37件の改善が完了するという成果が現れています。今後、相馬モデルのリスクアセスメント手法をさらにレベルアップし、オリエンタルモーター全社に展開することで、労災事故ゼロの「みんなが安心して働ける職場づくり」の実現を目指していきます。

### 相馬事業所について



1996年に国内7番目の事業所として竣工された。多品種あるステッピングモーターと駆動ドライバ回路の量産を少量から対応する。  
所在地：福島県相馬市大野台 1-1-3



# 持続的な企業経営のために

## マネジメント方針

経営の指針として「労働安全衛生」「品質」「環境」の3つの方針を設けています。すべての役員および社員は、事業活動における基盤としてこの3方針に基づいた行動をとるよう努めています。

### 労働安全衛生方針

#### 基本理念

オリエンタルモーター株式会社は、全ての活動において労働安全衛生が重要課題であることを認識し、安全で健康な「人に優しい企業」を目指して、全員参加で労働安全衛生活動に積極的に取り組みます。

#### 方針

- 1 全ての社員が労働安全衛生の課題に積極的に取り組み、実施した結果を踏まえ定期的に課題を見直し、労働安全衛生の継続的な改善を図ります。
- 2 全ての活動において、危険箇所の低減、5Sの徹底、職場環境の整備、防火管理および健康増進活動等を通して、災害および事故の低減に努めます。
- 3 交通安全活動の展開により、業務および通勤時の交通事故防止に努めます。
- 4 労働安全衛生法をはじめ関連する諸法令および社内基準を順守します。また、運用に必要な資格取得を推進し、維持発展できる体制を目指します。
- 5 全ての社員が、幅広い労働安全衛生教育を通して、課題を遂行できる知識の習得と意識の向上に努めます。

制定日：2004年7月7日  
改定日：2016年4月1日

### 品質方針

#### 基本理念

オリエンタルモーター株式会社は、お客様のニーズを捉えた製品の開発および標準化に取り組み、安定したモノづくりと、全員がそれぞれの役割に応じた改善活動を継続することで品質向上に邁進します。

#### 方針

- 1 全ての社員が、品質の重要性を認識し、それぞれの職場における円滑なPDCAサイクルを通して、継続的な改善を実施します。
- 2 お客様の声に耳を傾け、それらを商品やサービスの改善に結びつけ、お客様の満足度向上を目指します。

制定日：1999年8月6日  
改定日：2016年4月1日

- 3 効率的で運用しやすい品質マネジメントシステムを構築し、お客様に安心していただける品質保証体制を確立します。
- 4 品質教育と社員の創意・工夫を重視し、さらなる技能の修得と品質改善に努めます。
- 5 法規制を始めとする社会的要求事項やお客様・取引先様などの合意事項を順守します。

制定日：1994年1月6日  
改定日：2016年4月1日

### 環境方針

#### 基本理念

オリエンタルモーター株式会社は、お客様のニーズを捉えた製品の開発および標準化に取り組み、製品のライフサイクルを通して、地球環境の保全のために、事業活動のあらゆる面で環境負荷低減に貢献します。

#### 方針

- 1 全ての社員が、事業活動、製品、サービスが環境に与える影響を把握し、環境課題を定めるとともに円滑なPDCAサイクルを通して、継続的な改善を実施します。
- 2 製品の省資源・省エネルギー設計、有害物質の削減に取り組み、製品のライフサイクルを通して環境への負荷低減に努めます。
- 3 全ての事業活動において、省資源、資源の有効利用、使用エネルギーの削減、廃棄物の削減を推進します。
- 4 法規制を始めとする社会的要求事項を順守し、環境汚染の防止に取り組みます。
- 5 地域の環境保護活動に積極的に取り組み、地域社会との共生を図ります。
- 6 環境教育と社員の創意・工夫を重視し、さらなる環境負荷低減に努めます。

制定日：1999年8月6日  
改定日：2016年4月1日

## ISO認証による統合マネジメントシステム

ISO 9001およびISO 14001の認証を取得し、統合マネジメントシステムを構築しています。

2019年度は相馬事業所がISO 45001（労働安全衛生マネジメントシステム）の認証を新たに取得しました。今後は他拠点にも展開するよう進めていきます。

### ISO 認証取得状況

|        | ISO 9001   | ISO 14001      | ISO 45001      |
|--------|--|----------------|----------------|
| 登録日    | 2005年2月23日 ※全社統合での認証取得日  |                | 2019年12月20日    |
| 更新日    | 2020年2月15日 ※最新版登録証発行日  |                | —              |
| 登録拠点   | 鶴岡中央事業所 鶴岡西事業所 つくば事業所 土浦事業所 高松西事業所 高松国分寺事業所 相馬事業所 柏事業所 東京支社 名古屋支社 大阪支社 |                | 相馬事業所          |
| 認証基準   | ISO 9001:2015  | ISO 14001:2015 | ISO 45001:2018 |
| 審査登録機関 | 一般社団法人 日本品質保証機構 (JQA)  |                |                |
| 認証番号   | JQA-QMA15799   | JQA-EM7425     | JQA-OH0309     |

## リスクマネジメント

持続的な企業活動の障害となるリスクを明確にし、それらリスクを排除することで、社会からの信頼および企業価値を損なうことのないよう取り組んでいます。

### 事業継続計画 (BCP)

#### 基本理念

あらゆる潜在リスクが発生した場合に備え、危機管理体制とその他基本事項を危機管理規定として定め、当社および周辺地域住民の安全確保を図るとともに、製品の品質確保を図り、企業としての責務を果たすことに取り組んでいます。

2019年度には、安否確認システムを導入しました。実際に災害が起きたときに従業員の状況を迅速に把握し、早期に適切な対応を行える環境を整えています。

#### 方針

- 1 社員とその家族、来訪者の安全確保を最優先する
- 2 企業資産（建物、機械・設備、原材料・製品・半製品等）の保全を図る
- 3 業務の早期復旧と継続を図る
- 4 各種対応の際は、常に人道面での配慮を優先させる
- 5 対策の継続的な改善を図る

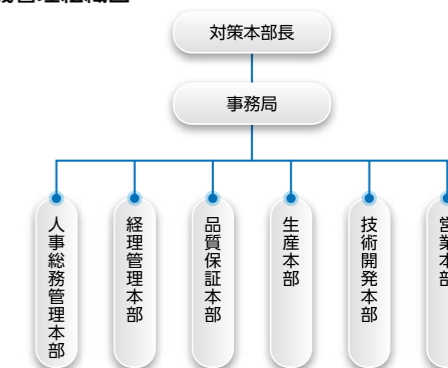


火災を想定した防災訓練 (鶴岡西事業所)



地震を想定した防災訓練 (土浦事業所)

### 危機管理組織図



### 情報セキュリティの強化

情報システムを安全に活用するために、国内外の拠点を閉域のネットワークで結び、注文情報や生産情報など主要システムは複数のデータセンターで稼働させることで、安全性の高いシステム基盤を構築し運営しています。また、危険性の高いインターネットとの接続部分も、多層防御の仕組みにより万全の安全対策を行っています。

オリエンタルモーターで所有するすべてのパソコンでのウイルス対策、社外でのパソコンの利用制限、USBメモリーなどの外部記憶媒体へのアクセス制限、スパムメール対策、社内情報利用の手引きを作成し、継続的に社員教育を行うなど、情報セキュリティ体制も常に見直し、強化しています。

# 継続的な技術の進化によってニーズに応える製品を生み出しています

## お客様に高付加価値を提供する技術・製品事例

装置に求められる小型化、高効率化、予防保全などのニーズを満たすために、装置の駆動源であるモーターも同様の課題に向き合い、解決する必要があります。オリエンタルモーターは、小型・ハイパワーのモーターや、モーターの状態をモニタする機能を搭載した製品などをリリースし、お客様のニーズにお応えしています。

バッテリーレスアブソリュートセンサ搭載  
**αSTEP AZシリーズ**  
EtherNet/IP™対応ドライバ  
EtherCAT ドライブプロファイル対応ドライバ



- 【特徴】**
- ・EtherCAT、EtherNet/IP™通信対応ドライバ
  - ・当社のAZシリーズモーター、電動アクチュエータ使用可能
  - ・AC電源、DC電源タイプをラインアップ
- \* EtherNet/IP™はODVAの商標です。  
\* EtherCAT®は、ドイツのベッコフオートメーション株式会社がライセンスを供与した登録商標であり、特許取得済みの技術です。

ステッピングモーター  
**PKPシリーズCSギヤード**

- 【特徴】**
- ・センターシャフト
  - ・高強度
  - ・小型・薄型コネクタ採用



ブラシレスモーター  
**BMU・BLE2シリーズ**  
防塵・防水仕様コネクタタイプ



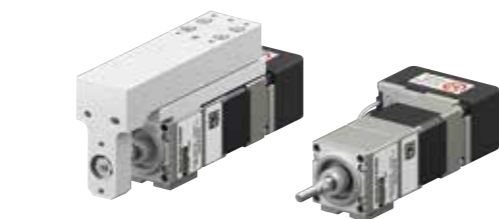
- 【特徴】**
- ・防塵・防水仕様
  - ・保護等級 IP67
  - ・耐食性向上
  - ・衛生面に配慮

AC小型標準モーター  
三相高効率インダクションモーター  
**KISシリーズ**  
200W平行軸ギヤヘッド  
丸シャフトタイプステンレスシャフト

- 【特徴】**
- ・最大効率80%
  - ・IE4基準値をクリア
  - ・低振動
  - ・保護等級 IP66



コンパクト電動シリンダ  
**DRシリーズ**  
取付角寸法20mm AZシリーズ搭載



- 【特徴】**
- ・高精度位置決め
  - ・コンパクトサイズ
  - ・豊富なバリエーション

AC電源入力カプロワ  
**MBシリーズ Sタイプ**

- 【特徴】**
- ・高静圧、低騒音
  - ・取付けやすさ向上
  - ・高温風送



## さらに新しい分野に向けた技術開発

オリエンタルモーターは、幅広いニーズを的確にとらえ、モーター、ギヤ、電動アクチュエータ、回路、ファンなど「動き」に関わるさまざまな製品を研究・開発してきました。これまで培ってきた技術と、必要ときに、必要な製品を、1台から短納期でお届けする体制が、幅広い製品バリエーションとともに、社会に価値をお届けします。

### 防塵・防水ブラシレスモーターの開発

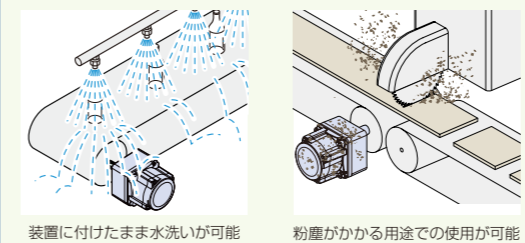
食品・農業・印刷業界などで使用する装置ではモーターに水や防塵がかかるため、速度制御が簡単なブラシレスモーターの防塵・防水仕様が欲しいという要望が多くありました。そこで、水や埃がかかる環境に強くそのまま水洗いできる防塵・防水性を向上させたブラシレスモーターを開発しました。2019年度は200Wを発売し、さまざまな用途で使用されています。

#### 防塵・防水ブラシレスモーターの特徴



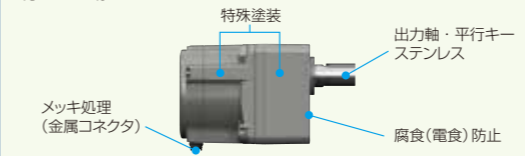
#### 防塵・防水仕様 保護等級 IP67

粉塵や水がかかる環境で使用できます。水洗いのできるため、装置に取り付けたままよく、保護するカバーも必要ありません。



#### 錆びにくい 耐食性アップ

錆びにくい特殊塗装を施し、出力軸やねじにはステンレス材を使用しています。取付面も塗装しているためステンレス装置に組み付けても錆びにくいです。



#### クリーンな環境にマッチ 耐環境性アップ

高効率モーターなので冷却ファンを搭載していません。そのため、外部の粉塵を巻き上げる心配がありません。

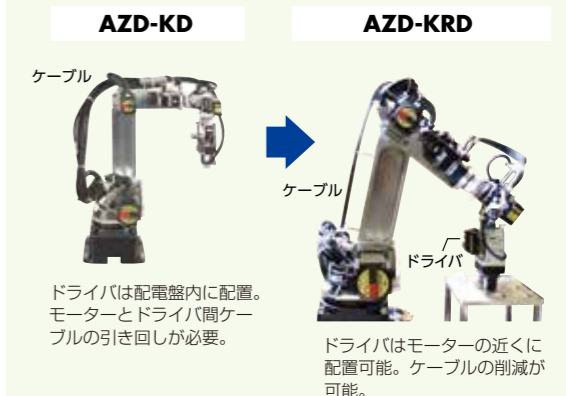
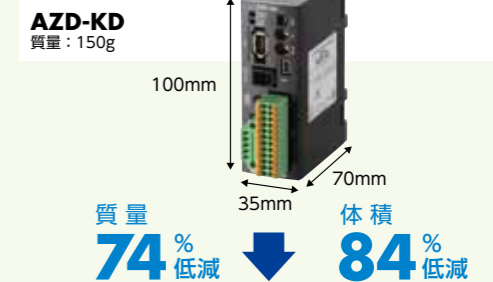


### ロボット向け小型ドライバの製品化

近年、多関節ロボットなどの自動化装置では、装置の小型・軽量化のために、ドライバをモーターの近くに配置し、モーターとドライバ間の接続ケーブルを減らしたいという要望があります。このためドライバも小型・軽量化、省配線化が求められています。新開発のAZシリーズ小型ドライバは従来品から体積が84%、質量が74%低減を達成しました。さらに、複数の機器を数珠つなぎにするデジチェーン接続による省配線も実現しました。ロボットなどの自動化装置の軽量化に貢献します。

#### ロボット向け小型ドライバの特長

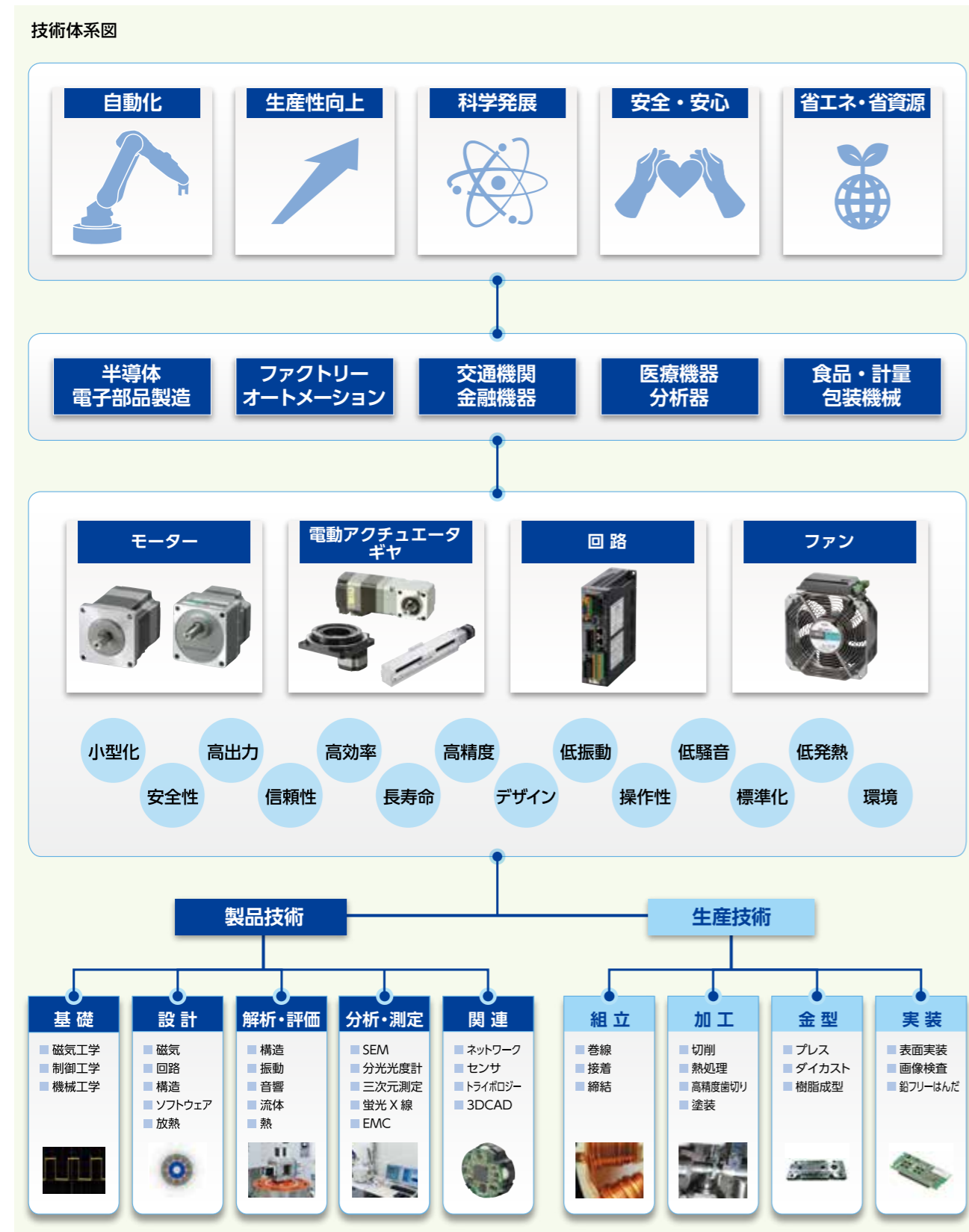
##### ドライバサイズ、質量比較



テクニカルレポートRENGA  
「AZシリーズ小型ドライバ(AZD-KRD)の開発」  
[https://www.orientalmotor.co.jp/tech/renga/1911\\_az/](https://www.orientalmotor.co.jp/tech/renga/1911_az/)

## 技術体系

お客様の多様なニーズにお応えする技術は多岐にわたります。オリエンタルモーターは、要素技術から生産技術まで見通す技術体系を構築し、すべての技術者が多様な製品技術に精通することで、お客様の課題を解決しています。



## 安全性・信頼性確保の取り組み

製品の品質は、機能・性能だけでなく、安全性と信頼性を確保することで成り立ちます。オリエンタルモーターでは、より安全性、信頼性を高めるための体制を整えて製品の開発をするとともに、改善・改良に努めています。

### 製品の安全性を保证する試験体制

オリエンタルモーターの製品は、日本の電気用品安全法をはじめCEマーキング(EU)、UL規格(米国)、CCC強制認証制度(中国)などの国内外の主要な安全規格・法令に適合しています。

製品の安全性を確実にする取り組みの1つとして、つくば事業所と甲府事業所に、安全規格・法令への適合を試験・評価する製品安全試験所、EMC試験センターを設けています。ここでは、製品安全およびEMC(電磁両立性)技術者の国際的な資格「iNARTE」<sup>※1</sup>取得者<sup>※2</sup>が中心となって試験を行い、試験技能や施設は試験所マネジメントシステムに基づいて管理されています。特に製品安全試験所は製品の安全性の第三者認証機関であるUL<sup>※3</sup>の試験所認定を取得することで第三者認証機関と同等の試験体制を構築しており、厳正かつ客観的な試験結果を保証しています。

オリエンタルモーターは、これらの取り組みを通し、安心してお使いいただける安全な製品をお客様に提供しています。



製品安全試験所(つくば事業所内)



ドライバの部品故障試験



ローター拘束試験

※1 iNARTE:The International Association for Radio, Telecommunications and Electromagnetics  
 ※2 2020年5月1日現在6人(製品安全エンジニア4人、EMCエンジニア2人)  
 ※3 UL:Underwriters Laboratories, Inc.

### 製品の信頼性を高めるために

環境試験をするために信頼性試験棟内にさまざまな設備を保有し、専任の技術者が試験を実施します。試験を終えた製品は、狙い通りの耐力を有しているか入念な調査解析を行います。設計部門では、この調査解析結果をもとに製品の改善改良を重ねます。

このように設計評価を繰り返し行うことで製品の信頼性を高め、安心してお使いいただける製品をお客様に提供しています。

### 主な所有評価設備

#### 計測

- ・三次元座標測定機
- ・画像測定機
- ・真円度測定機
- ・表面粗さ輪郭形状測定機

#### 分析

- ・実体顕微鏡
- ・金属顕微鏡
- ・走査型電子顕微鏡(SEM)
- ・蛍光X線分析装置(EDX)
- ・赤外分光光度計(FT-IR)

#### 試験

- ・高度加速寿命試験機(HAST)
- ・複合環境試験機
- ・冷熱衝撃試験機
- ・塩水噴霧試験機
- ・恒温恒湿槽
- ・落下試験機



信頼性試験棟(つくば事業所内)



複合環境試験機



小型低温恒温槽



金属顕微鏡



走査型電子顕微鏡(SEM)

# 世界中で同じサービス・サポートを提供しています

## 充実したサポート体制

いち早くご相談を承り、最適な動きを提案するよう、世界各地に現地法人・営業拠点を設けています。設計段階や購入前から購入後までのすべての時点で、充実したサービスを多様な製品とともにお届けします。



### お客様ご相談センター

お客様からのお問い合わせには、丁寧な対応を徹底しています。また、いただいた声はオリエンタルモーターの製品やサービスをより良くするための貴重なご意見として、関係各所に共有し、より良いサービス提案および、製品の改善に努めています。



技術的な内容にも対応するお客様ご相談センター

### フィールドサービス

お客様の生産活動に支障が起きないように、設備のセットアップ・メンテナンスに関する提案型のサービスを展開しています。高度な技術とノウハウを持つ、全国のエンジニアが、フィールドサービス体制を構築しています。万一、オリエンタルモーター製品でトラブルが生じた場合には、迅速で正確な対応で設備の機能回復に努めます。



速やかにお客様のもとに駆けつけるフィールドサービス

### 選定サービス

専任スタッフがお客様に代わってトルク計算等のモーター選定を行い、回答します(無料)。機構に応じた最適な製品の提案はもちろん、周辺機器の紹介や計算過程の提示も行います。また、WEBサイトにはモーター選定ツールをご用意しています。ダウンロードやログインなしでいつでもご利用いただけます。



短時間でお客様のご希望に応える選定サービス

## 各種セミナーの実施

モーターに関するセミナーを開催し、お客様に技術情報を提供しています。お客様の装置のお悩み解決、また、若手社員の方の教育の場としてもご利用いただいています。

### ライブセミナー

講師による講義形式のセミナーを全国各地で開催しています。製品やデモ機に直接触れながら、モーターに関する基礎知識やモーターの選び方など、目的やレベルに合わせて受講いただけます。

### WEBセミナー

WEBサイトで学べるセミナーです。外出先や自宅など、場所や時間に関わらず、いつでもご利用いただけます。



ライブセミナーの様子

WEBセミナー国内開催数  
(2019年度)

184回

## 展示会/ショールームでの情報提供

### 世界各国の展示会に出展

世界各地の展示会に出展しています。展示会のコンセプトに沿った最新製品を「見て」「触れて」「体感」できる場を提供し、お客様の装置課題へのソリューションを提案します。

#### 2019年度の主な出展実績

| 開催地    | 開催日         | 展示会名                             |
|--------|-------------|----------------------------------|
| 日本     | 12/18-21    | 国際ロボット展                          |
| アメリカ   | 9/23-9/25   | PACK EXPO Las Vegas              |
| メキシコ   | 6/11-6/13   | Expo Pack                        |
| ブラジル   | 6/25-6/28   | FISPAL TECNOLOGIA                |
| ドイツ    | 11/26-11/28 | SPS NUREMBERG                    |
| イタリア   | 5/28-5/30   | SPS PARMA                        |
| 中国     | 9/17-9/21   | 中国国際工業博覧会                        |
| 台湾     | 8/21-8/24   | 台北国際自動化工業大展                      |
| 韓国     | 10/22-10/25 | KOREA MACHINERY FAIR             |
| タイ     | 6/19-6/22   | Assembly & Automation Technology |
| マレーシア  | 5/23-5/26   | METALTECH                        |
| フィリピン  | 10/11-10/13 | MTW                              |
| ベトナム   | 7/2-7/5     | MTA                              |
| インドネシア | 12/5-12/8   | MANUFACTURING INDONESIA          |
| インド    | 9/24-9/28   | AUTOMATION EXPO                  |



SPS NUREMBERG (ドイツ)



国際ロボット展 (日本)

### プライベート展示会の開催

お客様の近くでプライベート展示会を開催しています。装置のコストダウン、省エネ、設計時間の短縮などに貢献する最新製品をはじめ、多数のデモンストレーション機器を体感いただけます。

#### 2019年度の主な開催実績

| 開催地    | 開催数 | 主な会場         |
|--------|-----|--------------|
| 日本     | 7回  | 愛知、大阪、福岡     |
| 中国     | 2回  | 東莞、蘇州        |
| 台湾     | 2回  | 台中、高雄        |
| タイ     | 4回  | アユタヤ、チェンマイ   |
| マレーシア  | 4回  | ジョホールバル      |
| フィリピン  | 1回  | マニラ          |
| ベトナム   | 2回  | ホーチミン、ハノイ    |
| インドネシア | 1回  | ジャカルタ        |
| インド    | 8回  | アフマダーバード、デリー |



蘇州会場

### ショールーム

製品やデモンストレーション機器の展示のほか、技術相談や選定サービス、定期的な技術セミナーも行っています。



東京ショールーム

# 高い品質の製品を安定して供給する体制づくりに努めています

## 部品の調達

社会や環境への影響を配慮した資材調達を行うため取引先様と協力していくことが最も大切であると考えています。そのため、法規制をはじめとする社会的要求や、取引先様との合意事項を順守し一方的に不利な条件の強要や示唆をせず、最適な取引を行います。また、環境負荷の少ない資材調達を継続的に推進します。

### 調達の基本方針

#### 法令・社会規範の順守

商取引に関する諸法規を順守し、調達活動を行います。また、取引で知り得た機密情報は、許可なく第三者へ開示いたしません。

#### グリーン調達の推進

環境保全に配慮し、化学関係法令に対応した管理、運営を定め「有害物質を入れない、使わない、出さない」ための活動を行います。そのため、取引先様にも化学物質管理体制の構築をお願いしています。



#### 公正かつ公平な取引

地域・規模・実績の有無を問わず、取引先様に対して公正かつ公平な参入機会を提供します。取引先様と対等な立場で取引を行うことで、継続的な協力関係を構築し、相互の繁栄・存続を目指します。

#### 総合的に勘案した最適な取引

品質、納期、コスト、安定供給力、技術開発力、経営の安定性を総合的に判断して取引を行います。

# 99%

取引先様からの  
部品購入における納期遵守率  
(2019年度)

## 取引先様とのコミュニケーション

取引先様とは、常に対等な関係であることが重要と考えています。オリエンタルモーターでは、取引先様と継続的な協力関係を構築するためあらゆる機会を通じて積極的に対話し、情報交流を行っています。また、品質改善、納期改善、原価低減を行う際は、取引先様の製造現場に積極的に赴き、現物、現実を元に対話を重ねています。オリエンタルモーターだけでなく、取引先様の企業価値の向上も目指しています。



取引先情報交換会（関東）

### お互いの企業価値を向上させる交流会の開催

- ・取引先情報交換会
- ・取引先交流会
- ・技術交流会
- ・品質交流会



品質交流会の一環として開催した品質活動発表会

## 生産体制の整備

カタログやWEBサイトに掲載されている製品は、いつでも、どこでも、何台からでもお求めいただけます。そして、ご注文いただいた製品を約束した納期どおりにお届けするよう、生産体制を整えています。

### 自動化の推進

お客様に製品を安心してお使いいただくために、生産工程ごとに基準を設け、良品を確実に造りあげるモノづくりを構築しています。また、製品の生産性や品質の向上を目的として、それまで人が行っていた工程への設備導入や組立工程の自動化を積極的に進め、安定供給に努めています。

近年は、導入した設備間を搬送装置で連結し、さらに部品供給機を加えることで、一定時間の自動運転ができるよう整備を進めています。また各地区で自動化のモデルラインを構築し、それをスピーディに展開できるような標準化設計にも積極的に取り組んでいます。生産性や品質、また人の安全性や働きやすさの向上に向けて、可能な限り設備やロボットに置き換え、技能が必要な工程は人が担当するなど、技能と自動化の調和を図っています。



自動組立ライン



自動化と人の技能を組み合わせさせたライン

### 約束した納期を守る取り組み

お客様のさまざまな注文に対して納期どおり製品を造りあげる仕組みを構築しています。

近年、生産活動を管理する基幹システムをリニューアルし、2019年度に全拠点への展開が完了しました。受注から出荷まで、よりシンプルに、より安定した仕組みになりました。製造現場ではIoTを活用して生産におけるロスの見える化も進め、後戻りのないモノづくりができるように、生産部門一体となった改善にも取り組んでいます。

また、日本と同じように世界中へ製品をお届けするために、一部の製品は海外拠点で生産しています。モノづくりの考え方は国内、海外とも同じとなるように、海外から実習生を迎え入れ、伝承を進めています。

### 社員のスキルアップ

生産活動を支えているのは「人」です。社員1人ひとりが目的意識を持ち、仕事を通して成長できるよう取り組むことが必要になります。すべての社員が研究会や勉強会に参加したり、各種技能検定、機械保全技能士、接着管理士など資格を取得したりすることで、スキルアップを図り、モノづくりを支える人材として活躍しています。

#### 2019年度 技能検定合格人数

(人数)

| 職種     | 作業名           | 特級 | 1級 | 2級 | 3級 | 合計 |
|--------|---------------|----|----|----|----|----|
| 機械加工   | マシニング         |    |    | 1  |    | 1  |
|        | 数値制御旋盤        |    |    | 1  | 1  | 2  |
| ダイカスト  | コールドチャンバダイカスト |    |    | 1  |    | 1  |
| 金属材料試験 | 組織試験          |    |    | 1  |    | 1  |
| 機械検査   | 機械検査          |    |    |    | 12 | 12 |
| 機械保全   |               | 1  |    |    |    | 1  |
|        | 機械系保全         |    | 3  | 6  |    | 9  |
|        | 電気系保全         |    |    | 1  |    | 1  |
| 電子機器組立 | 電子機器組立        |    |    |    | 1  | 1  |
| 合計     |               | 1  | 3  | 11 | 14 | 29 |

#### 接着管理士 資格取得保持者

(人数)

|             |    |
|-------------|----|
| 2019年度 資格取得 | 12 |
| 資格取得保持者合計   | 74 |

# 事業活動を通して環境負荷低減に継続的に取り組んでいます

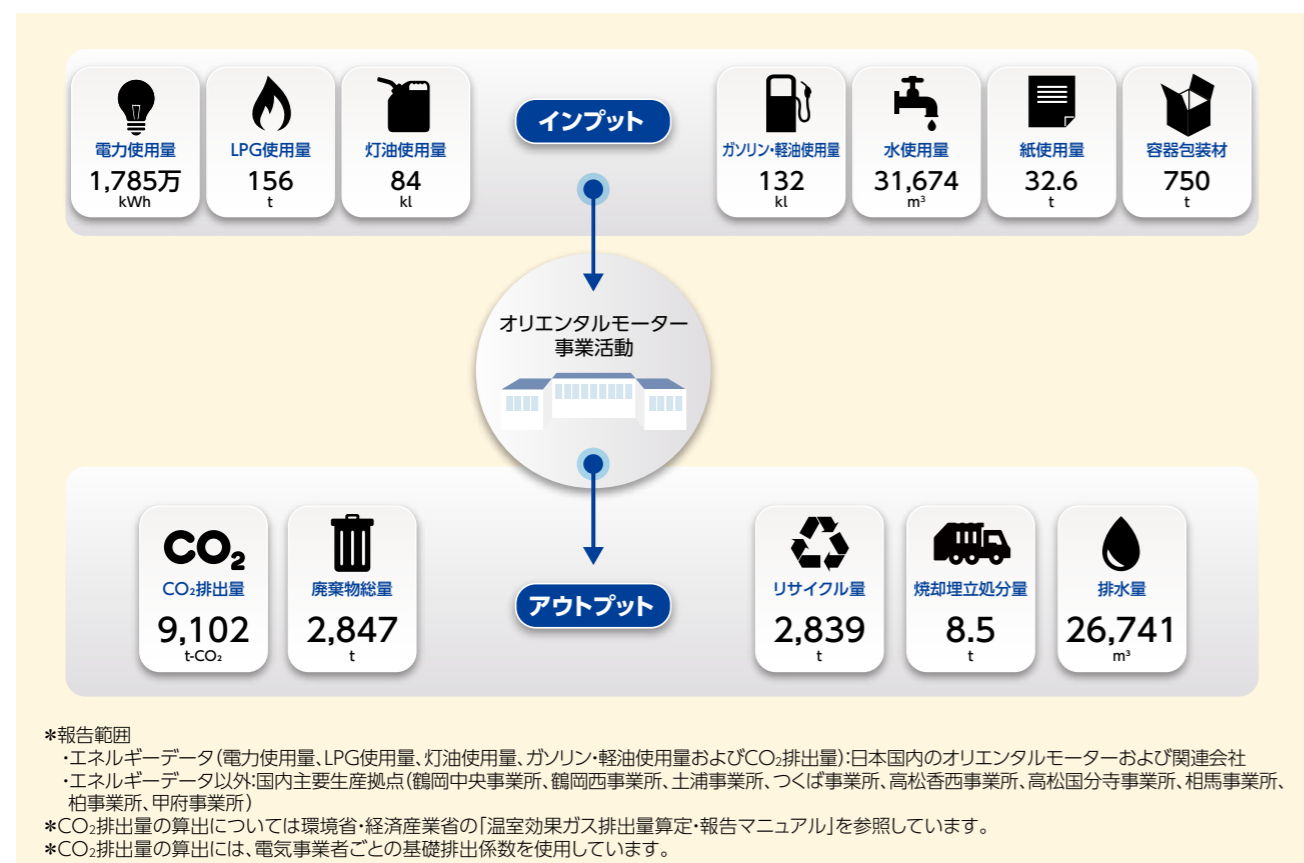
## 環境活動の目標と実績

環境方針（P16「マネジメント方針/環境方針」をご参照ください）に基づき、地球環境と人に優しい企業経営を実践しています。2019年度の環境活動実績についてご報告します。

### 2019年度の目標と実績、2020年度目標

|          | 2019年度 目標                                       | 2019年度 実績   | 2020年度 目標                                       |
|----------|---|---|---|
| エネルギーの管理 | 5年度間平均原単位の1%以上の低減を達成する                          | 空調設備や照明の更新を積極的に推進し、エネルギー効率が向上<br>5年度間平均原単位の7%低減を達成                          | 5年度間平均原単位の1%以上の低減を達成する                          |
| 廃棄物の管理   | 廃棄物削減活動の継続<br>国内主要生産拠点の廃棄物累計でリサイクル率99.0%以上を維持する | 廃棄物の総排出量 2,847t<br>(前年度比 89%)<br>リサイクル率 99.7%<br>国内主要生産拠点の廃棄物累計でゼロエミッションを達成 | 廃棄物削減活動の継続<br>国内主要生産拠点の廃棄物累計でリサイクル率99.0%以上を維持する |

### 環境負荷データ



### 環境に配慮した製品の開発

製品の効率化をはじめとする環境負荷低減活動に積極的に取り組んでいます。例えば、動力用モーターでは地球温暖化対策としてエネルギー使用量を抑制するための高効率化が求められ、世界各国でモーターの効率に関する法規制が施行されています。オリエンタルモーターでは、モーターの磁気設計に最新技術を採用入れた高効率化、製品の小型化による省資源化を実現しています。

#### AC小型標準モーター 三相高効率 インダクションモーター KISシリーズ200W

- 最適な磁気設計と専用部品の採用により、
- ・最大効率が80%、IE4基準値をクリア。
  - ・従来品から消費電力10%低減。
  - ・モーターの出力アップやファンレス化を実現。



KISシリーズ200W

#### ブラシレスモーター BMUシリーズ、BLE2シリーズ

- ・モーターとドライバのユニットでの効率を最大15%<sup>\*1</sup>アップ。
- ・高性能材料採用により小型化<sup>\*2</sup>と使用材料の削減を実現。

\*1 BMUシリーズの場合。  
\*2 200WのACモーターと比較して、モーター全長は約36%、質量は約40%削減。



BMUシリーズ

BLE2シリーズ

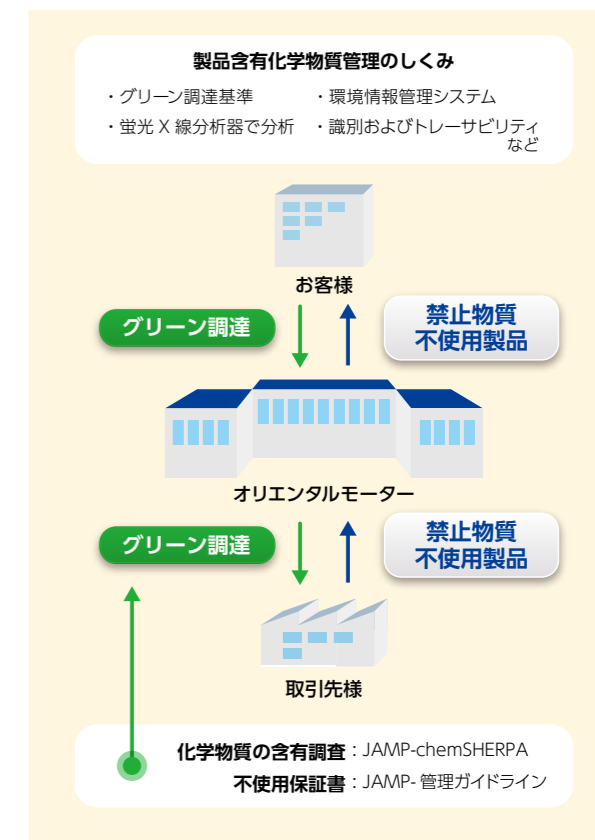
### 製品含有化学物質の法規制の順守と管理

人の健康と環境に悪影響を及ぼす化学物質を適切に管理しようという世界的な動向を背景に、さまざまな法規制が各国で施行されています。オリエンタルモーターは、RoHS指令<sup>\*1</sup>、REACH規則<sup>\*2</sup>をはじめとする世界の法規制を順守するため、製品に関する材料宣言の手順、内容およびフォーマットが規定されている国際規格IEC 62474<sup>\*3</sup>に準拠した、自社の「グリーン調達基準」を発行しています。また、社内および取引先様の管理体制を構築し、サプライチェーンの製品含有化学物質管理を徹底しています。

部品含有情報調査では、JAMP<sup>\*4</sup>が発行しているアーティクル情報記述シート(AIS)から、経済産業省の主導で開発された情報伝達スキーム(chemSHERPA)に置き換えを進め、お客様へよりスムーズに情報をお届けすることを目指しています。また、RoHS指令でフタル酸エステル類4物質(DEHP、DBP、BBP、DIBP)が規制されるため、一部製品を除き切り替えを完了いたしました。

\*1 RoHS指令: Restriction of use certain Hazardous Substances in electrical and electronic equipment  
\*2 REACH規則: Registration, Evaluation, Authorisation and Restriction of Chemicals  
\*3 IEC 62474: Material Declaration for Products of and for the Electrotechnical Industry  
\*4 JAMP: Joint Article Management Promotion-consortium (アーティクルマネジメント推進協議会)

#### 製品含有化学物質管理体制



## 事業活動による環境負荷の低減

さまざまな活動を通して、事業活動における地球環境への負荷を低減するよう努めています。

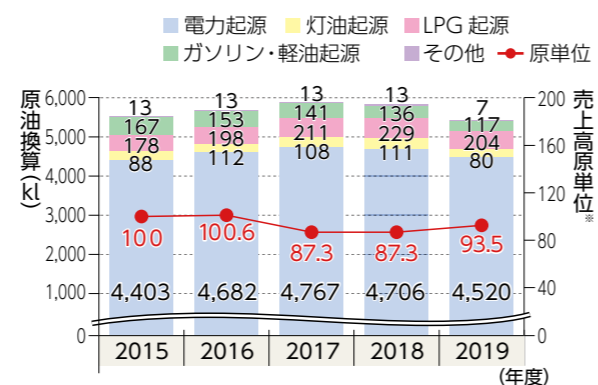
### 省エネルギー

2019年度のエネルギー使用量は、原油換算で4,928klでした。2018年度と比較すると95%の実績となり、減少しています。売上高原単位は2015年度を100とした場合、約7%の改善となり、省エネ法（エネルギーの使用の合理化に関する法律）の特定事業者の目標とされる「5年度間平均原単位1%以上の低減」を達成しています。

なお、省エネ法の事業者クラス分け評価制度（SABC評価制度）\*では、オリエンタルモーターの最新の評価実績として、3年連続で省エネ優良事業者であるSクラス評価となっています。

\*事業者クラス分け評価制度(SABC評価制度):省エネ法の定期報告(工場等)を提出する全ての事業者をS・A・B・Cの4段階へクラス分けし、クラスに応じたメリハリのある対応を実施するもの

原油換算と売上高原単位の推移



※売上高原単位(2015年度を100としたとき)

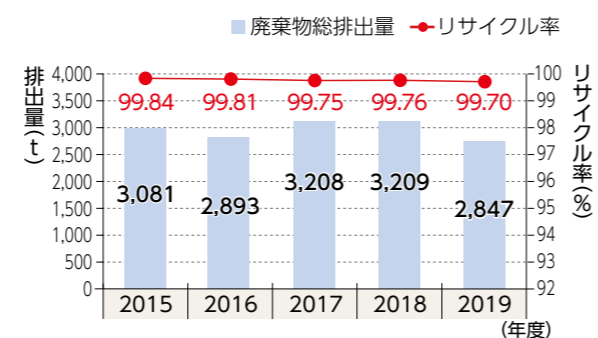
### 廃棄物削減とリサイクル推進

2019年度の廃棄物の総排出量は、2,847 tで2018年度と比較すると89%の実績になりました。生産減に伴う電磁鋼板の排出量減少が要因となっています。

リサイクルについては、国内主要生産拠点の廃棄物累計でリサイクル率99%以上を目標として活動を進めています。2019年度も引き続き各拠点で廃棄物管理の工夫や分別の啓蒙活動を実施した結果、リサイクル率は99.7%となり、目標を継続して達成しています。

限りある資源を有効に活用した生産活動を今後も推進し、循環型社会に貢献していきます。

廃棄物総排出量とリサイクル率(国内主要生産拠点)



### 化学物質の管理

化学物質をより安全に取り扱うために、有機溶剤や特定化学物質を危険有害性の少ない代替品への変更を実施し、作業者のリスク低減を図っています。その結果、法律で定められている特殊健康診断や作業環境測定の実施が軽減されています。また、万が一化学物質が漏洩した場合に備え、緊急時の対応手順を作成し、手順の効果を確認するための非常訓練も行っています。



油液処理キット

非常訓練

### 取り組み事例：照明のLED化推進による省エネルギー

省エネルギーを推進する活動として、各拠点で使用している照明のLED化を進めています。2019年度は全生産拠点合計で約2,300台のLED化を実施しました。これにより、生産拠点でのLED導入率は54%から66%に向上しました。

#### 事例1 柏オフィス竣工と柏事業所の改築

2019年度は、柏事業所の敷地内に新たに柏オフィスを竣工し、柏事業所も改築を行いました。1988年から操業している柏事業所のLED導入率は、改築前は6%程度でしたが、今回の改築で柏オフィスと共にLED導入率100%の拠点となりました。また、柏オフィスも含め、新たにISO 14001の認証も取得しています。



柏オフィス



柏事業所

#### 事例2 土浦事業所の改築

2019年度は土浦事業所の改築が完了し、組立工程のある棟が新しくなりました。この改築により、LED導入率が33%から52%に向上しています。

また、建物間の気圧の制御が可能となり塵やミストなどが持ち込まれにくい、よりクリーンな環境で生産が行われています。



土浦事業所



生産フロア

柏事業所のLED導入率

100%

今後もオリエンタルモーター全体で効率の良い機器の導入を推進し、省エネルギーを実現した快適な職場環境づくりを進めていきます。

# 多様な社員が安心して働ける職場づくりを推進しています

## ダイバーシティの推進

オリエンタルモーターグループで働くすべての社員が「仕事集団」として成果を挙げるために、円滑な人間関係とコミュニケーションを大切に、ダイバーシティ推進活動に取り組んでいます。

### 女性活躍推進行動計画

2016年度から2018年度までの3年間の計画期間が終了し、主任・副主任に占める女性の割合を20%にするという数値目標を達成しました。この3年間に取り組んださまざまな活動が少しずつ実を結んでいます。

2019年度の活動は、新たな3カ年の行動計画のもと、研究会の内容も社内外の変化に合わせて少しずつ見直しを行いました。研究会や座談会前の事前課題や事後の振り返りなどについても、課題や業務、今後のキャリアなどにさまざまな形でつながっていくような工夫をしました。

2020年度以降も、取り巻く環境の変化に合わせ、柔軟に取り組みを継続していきます。

#### 計画期間：

2019年4月1日～2022年3月31日までの3年間

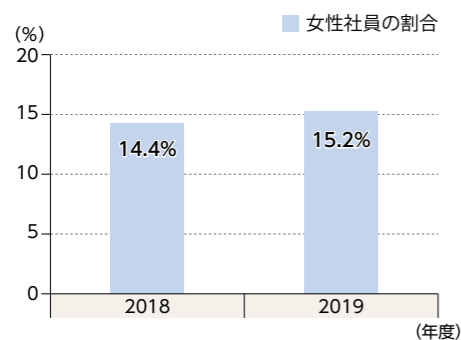
#### 行動計画目標：

主任に占める女性の割合を17%以上にする  
(現在14.4%)

#### 取り組み内容：

- 1 管理職育成を目的としたキャリア研究会を実施
- 2 社員の中長期的なキャリア形成支援
- 3 働き方改革の活動の見える化
- 4 生産性向上に向けた取り組みの実施

#### 主任に占める女性社員の割合



仕事と役割研究会～これまでとこれから～

#### 2019年度に実施した活動

| 名称                          | 活動内容                       |
|-----------------------------|----------------------------|
| 現場コミュニティ活動STEP4             | 2019年5月～2020年2月<br>(全7拠点)  |
| 仕事と役割研究会<br>～これまでとこれから～     | 2019年6月<br>(全2回開催)         |
| モノづくりウィメンズ・ラボ               | 2019年7月～2020年2月<br>(全2回開催) |
| モノづくりウィメンズ・ラボ<br>～フォローアップ編～ | 2019年10月<br>(第2期卒業式)       |
| ダイバーシティ<br>マネジメント研究会        | 次のステップに向けた内容と<br>開催方法の策定   |
| ダイバーシティ<br>マインドアップ研究会       | 次のステップに向けた内容と<br>開催方法の策定   |



### えるぼしの取得

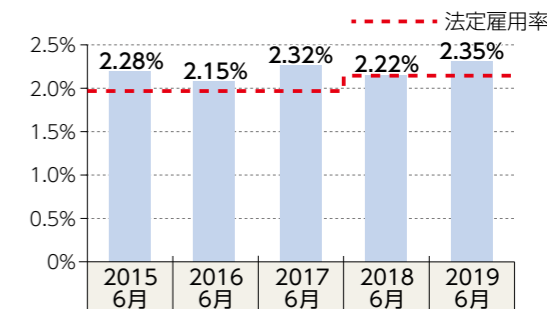
時間の使い方の見直しや、研究会や現場コミュニティ活動、各職場での実践、上司からのフォローアップなど、一歩一歩歩みを進めてきた成果として、2019年8月にえるぼし(二段階)を取得しました。5つの認定基準のうち、労働時間、管理職比率、多様なキャリアコースの3つの基準をクリアしています。時間に頼らない仕事の進め方や、正社員への登用など、オリエンタルモーターで働く1人ひとりの背景や個性を理解し、活かしてきた取り組みの結果であり、ひとつの節目でもありました。

### 障がい者雇用の推進

障がい者の新規採用および職場定着に注力し、1人ひとりの適性を活かせる職場への配置をしています。

「障がい者の雇用促進等に関する法律」では、企業に対し法定雇用率（2.2%）以上の割合で雇用するよう義務付けています。オリエンタルモーターでは、法定基準を超えた雇用を実現しています。

#### 障がい者雇用率の推移（6月時点）



## ワークライフバランスへの取り組み

全社員の活躍推進を実現するために、1人ひとりが自分らしいワークライフバランスを実現するための取り組みを継続していきます。さまざまな環境や背景の中、誰もが今持てる力を十分に発揮し、会社にそして社会に貢献し、成長の実感を持つことができるための取り組みを、今後も実践していきます。

### 「次世代育成支援対策推進法」に基づく行動計画

計画期間：2019年4月1日～2022年3月31日までの3年間

#### 目標1 男性の育児休業取得率を50%以上にする

##### 取り組み内容

継続的な制度等の情報提供と、制度利用状況の継続把握

#### 目標2 両立支援のさらなる理解促進、意識啓発

##### 取り組み内容

社内イントラ等を活用し、各種両立支援施策の制度の周知を行う

#### 目標3 ダイバーシティ推進に係る意識啓発

##### 取り組み内容

- ・上長向け：  
マネジメント研究会の内容の拡充と開催方法の更新
- ・キャリア開発：  
性別による区分けのないマインドアップ研究会の実施

#### 目標4 労働環境のさらなる整備

##### 取り組み内容

毎月、所定外労働時間および有給休暇の取得状況の把握を行い、業務効率化と計画的な休暇取得推進の取り組みを継続的に実施する



### 「プラチナくるみん」の認定を取得

高い水準の子育てサポート（両立支援）の取り組みを行っている企業として厚生労働省から認定を受け、2019年9月に「プラチナくるみん」を取得しました。「プラチナくるみん」は、次世代育成支援対策推進法に基づき、社員の子育てをサポートする企業として認められた「くるみん」認定をすでに取得し、さらに両立支援の取り組みが進んでいる企業を特例認定する制度です。2017年に「くるみん」の認定を取得以降、全社的な働き方の見直し活動をさらに推進し、仕事と育児の両立を支援する制度の策定や時間外労働時間の抑制などを継続して行ってきたことが、「プラチナくるみん」の認定につながりました。



### 仕事と育児の両立支援制度

2019年度の育児休業取得率は、女性社員が100%、男性社員は50%を引き続き継続しています。オリエンタルモーターでは、毎年取得率を算出する際に、厚生労働省による指標に加え、出産した本人（男性の場合、配偶者が出産した人）による育児休業取得率を算出し、より良い制度づくりに向けて状況を確認しています。

今後も仕事で力を発揮することと子育てが双方向で良い影響を与え合えるような支援を継続していきます。

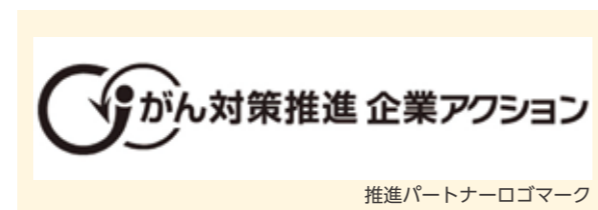


### 仕事と治療の両立支援制度

2017年に、がん検診受診率50%を目指して厚生労働省が推進する「がん対策推進企業アクション」の推進パートナー企業となり、がんの予防・早期発見の啓蒙活動を実施しています。また2019年度は、病気と向き合い治療に専念しながらも働き続けられる制度として、仕事と治療の両立支援制度がスタートしました。特定疾病を対象として、入院・療養休暇や治療休暇、勤務時間短等の措置、勤務時間制限の措置などが適用されます。

#### 2019年度の制度利用者数

|         |    |
|---------|----|
| 入院・療養休暇 | 9人 |
| 治療休暇    | 8人 |
| 短時間勤務   | 1人 |

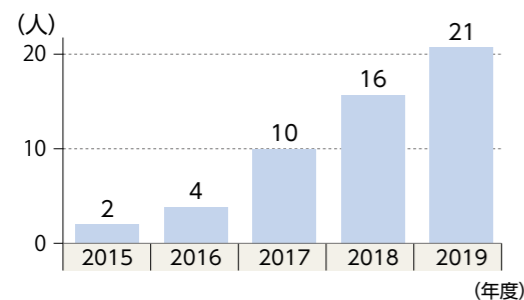


### 仕事と介護の両立支援制度

2019年度の介護休暇の取得申請者は21人となり、制度がスタートしてから最も多い人数となりました。毎年継続して利用する人も増えてきています。

超高齢社会という社会環境を踏まえ、さらなる制度の整備について、情報を集めながら検討を継続していきます。

#### 介護休暇申請者数の推移



## 「共に育つ」人財育成

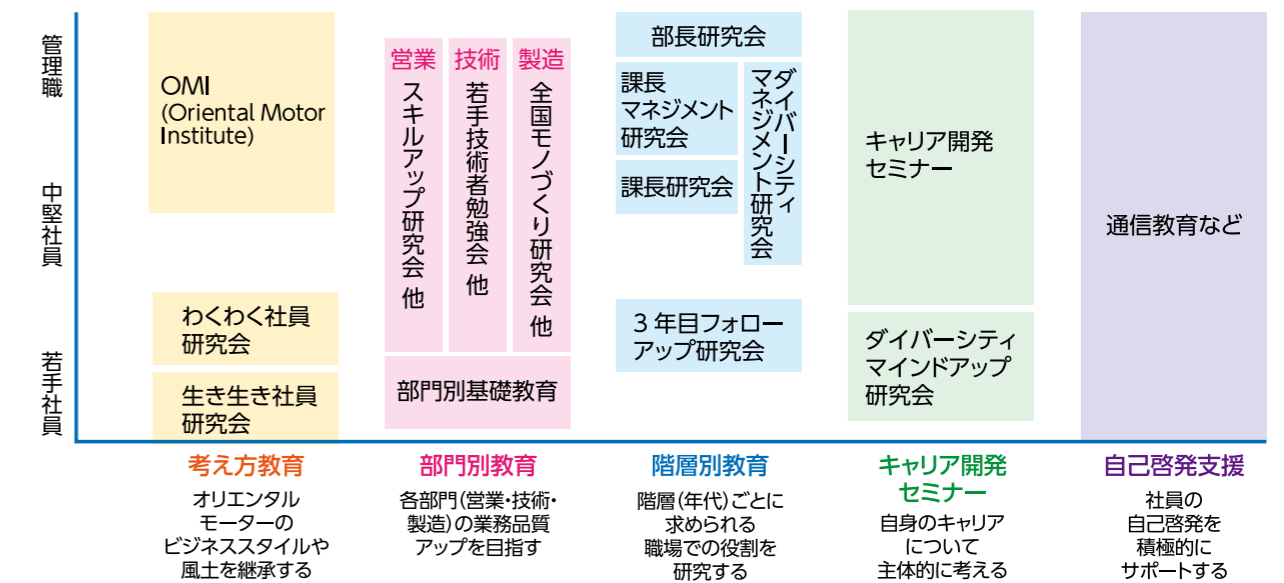
オリエンタルモーターの社員教育の原点は業績の向上と社員の幸せの同時達成です。

お互いに学びながら育っていく共育の考えを幹とし、入社時から自ら考え課題を解決していく研究会を実施して、1人ひとりの成長とスキルアップにつなげていきます。



新社員「生き生き社員研究会」

#### 教育制度



### 小集団品質改善活動～QIC活動

オリエンタルモーターでは業績を上げるだけでなく、働いている社員1人ひとりが同時に成長していける姿を目指しています。

QIC【Quality Improvement Circle】活動と呼ぶ、職場のさまざまな問題を共有化し、協力しあい、知恵を出しあって解決する小集団活動により、自分たちの職場を自分たちで良くしていく活動を行っています。これらの活動は製造部門だけでなく、技術部門や営業部門を含めた全社の活動として展開しており、海外拠点にも活動が広がっています。



QIC鶴岡大会

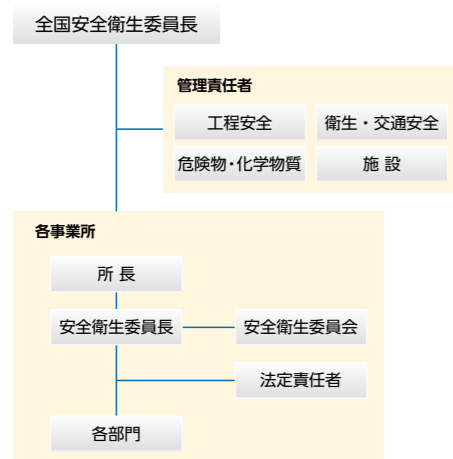
## 労働安全衛生

安全で健康な「人に優しい企業」を目指して、全員参加で労働安全衛生活動に積極的に取り組んでいます。信頼性の高い製品を提供する企業活動の基本は、従業員の健康と安全にあると考えています。

### 安全衛生推進体制

全社で安全衛生管理を推進する組織として、全国安全衛生委員長と工程安全、衛生・交通安全、危険物・化学物質、施設の各担当による組織体制を構築しています。また、本社および生産拠点で安全衛生委員会を設置し、労働災害や交通事故の発生の予防レベルを上げて、健康で安全な働きやすい職場を維持するための活動を行っています。

#### 安全衛生管理組織



### 交通安全活動

運転時の危険予知トレーニング、新社員への運転練習など教育活動や安全運転講習会の開催、長期休暇時の注意喚起などの啓蒙活動を各拠点で実施しています。

### 安全意識の醸成

安全衛生および交通安全のスローガンを毎年制定し、社員の安全意識の醸成を図っています。スローガンは社員からの募集と投票によって決定し、ポスターを作成して全社員に周知しています。

#### スローガンポスター



#### 2019年度のスローガン募集状況

|           | 安全衛生スローガン     | 交通安全スローガン |
|-----------|---------------|-----------|
| 募集対象      | 事業所・オフィス      | 営業所       |
| 応募数/対象社員数 | 2,133件/2,363人 | 409件/294人 |

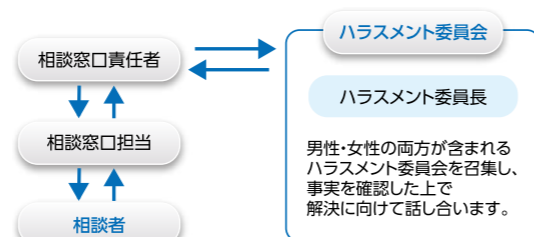
### リスクアセスメントの実施

設備や作業、化学物質の取り扱いに対するリスクアセスメントを継続して実施しています。リスクレベルの把握を行い、危険性や有害性の大きいリスクに対しての低減活動を進め、災害予防レベルを上げる活動を広めています。

## ハラスメント対策

就業規則でハラスメントを禁止し、その行為者に対し厳正に対処することを定めています。また、イントラネット上に、ハラスメントの基礎知識をはじめ、ハラスメントをしない・させないために心がけるべきことや、定期的に言動をセルフチェックするコーナーを設け、ハラスメントのない働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。各事業所・地域に相談担当窓口を設置し、あらゆるハラスメントの相談を受け付ける体制を整え、プライバシーに十分配慮した迅速かつ適切な対応を行えるよう、研修を開催しています。

#### ハラスメント相談体制



## 健康サポート

社員が健康かつ安心・快適に働くことができる職場環境の実現を目指し、さまざまな健康サポートを行っています。

### 健康診断、人間ドック受診

定期健康診断をはじめ、労働安全衛生法で定められている各種健康診断を適正に実施しています。

また、35歳以上の健康保険加入者については、定期健康診断として人間ドックの受診を推奨し、生活習慣病の早期予防・早期発見を図っています。会社指定の検査項目については、会社が全額負担しています。

### 産業医との連携

法令に則り、50人以上の事業場では産業医を選任しています。健康相談、健康診断のチェックおよび就業判定、安全衛生委員会への出席、そして就業制限や休職・復職に関するアドバイス等、産業保健の専門家として社員の健康サポートを実践していただいています。

### 健康づくりに向けた活動

社員の福利厚生団体である共済会では、労働衛生週間の時期に合わせて全社一斉のウォーキングキャンペーンを実施し、多くの社員や家族が参加しました。

また、各事業所では、生活習慣病予防のための衛生講話の開催等、社員の健康意識を高める活動を行いました。



栄養士による衛生講話（相馬事業所）

### メンタルヘルス

社員の心の健康保持増進のため、さまざまな取り組みを実施しています。全社で一斉実施したストレスチェックは、2019年の受検率99.9%を達成しています。

また、若年層向けのセルフケア講習や体験カウンセリング、上長に対するラインケア講習を実施し、予防措置に関する取り組みを積極的に展開しました。

さらに、社外相談窓口として外部EAP\*会社と契約し、メンタルヘルスカウンセリング体制の充実も図っています。

※従業員支援プログラム (Employee Assistance Program)の略称



セルフケア講習（高松国分寺事業所）

ストレスチェック受検率  
(2019年度)

99%

### 受動喫煙対策

受動喫煙は、他の人の喫煙によって生じる煙を吸い込むことを言います。2020年4月より改正健康増進法が施行され、受動喫煙対策が企業に求められるようになりました。各事業所では、喫煙スペースからの煙流出を防ぐ環境整備や、標識の設置など、各種対策に取り組んでいます。

### 健康経営へ

今後も、社員が心身ともに健康であり続け、活躍できる環境づくりを戦略的に推進することで、健康経営を実現していきます。

全社の健康課題を明確にし、目標を定めて推進していきます。

# 地域の一員としてさまざまな活動に参画して います

## 地域活性化支援

近隣企業とのイベントや地域でのスポーツ大会など各種催しに積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを大切にしています。また、将来の地域社会を支える子どもたちへの支援をはじめさまざまな活動に対し、協賛や寄付をしています。



環境フェアつるおか (山形県鶴岡市)



のしらの魅力体験塾 誘致企業こめっこ隊 (秋田県能代市)



「相馬市子育て・教育環境充実プロジェクト」への寄付

## 環境保全

より暮らしやすい地域を目指して、社員だけでなくその家族も含め、毎年継続して地域の清掃活動に参加しています。



香西地区クリーン作戦 (香川県高松市)



富士山環境美化前期クリーン作戦



近隣企業との環境合同研修 (山形県鶴岡市)

## 次世代育成

高等専門学校や理系の大学でモーターの講義や、中学校でのモーターの出前実験教室、事業所見学の受け入れなど、学生の方に対する各種サポートを行っています。

また、全国各地で開催されているロボットコンテストに協賛しています。ロボットに使われるモーターや賞品となる製品を提供し、協賛することにより将来のエンジニアの育成を支えています。



東京大学精密工学特別講義



小学生の事業所見学 (高松国分寺事業所)



知能ロボットコンテスト

## 中学校での出前実験教室

未来を担う学生の皆さんに対する各種サポートを通して、地域との共生、共創を進めています。

事業所のある山形県と香川県の中学校では、2016年からモーターの出前実験教室を行っています。モーターに関する知識を深め、技術について興味・関心を抱いてもらえるよう、入社2年目の社員が中心となって授業を作り上げています。また、地元の製造業がどんなことをしているのか、自分たちが働いている職場がどんな様子なのかを中学生の皆さんに伝えることで、将来の選択肢を広げてもらいたいと考えています。

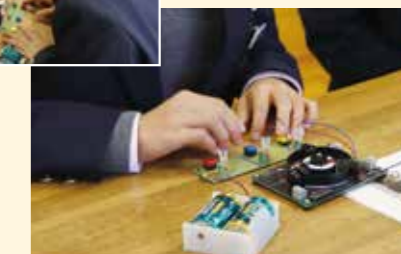


出前実験教室 参加生徒数 (2019年度)

101 人

### 実験教室のプログラム

- ・自己紹介、会社紹介
- ・講義：くらしのなかのモーター、モーターの原理
- ・実験①：コイルモーターをつくってしくみを学ぶ
- ・実験②：モーターを分解して構造を調べる
- ・実験③：モーターを動かしてモーターの「働き」を学ぶ
- ・ディスカッション&発表会：モーターが作り出す未来の社会や学校を考える



## ロボットコンテストへの協賛

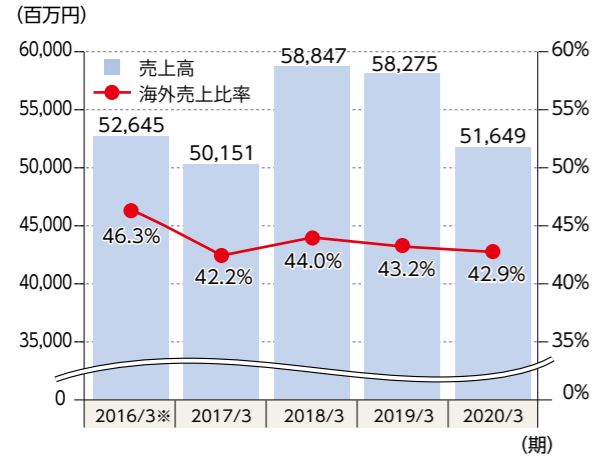
マイクロマウス大会 (主催 公益財団法人 ニューテクノロジー振興財団) において、大会に初めて参加する学生・生徒・学校関係者を対象に、ステッピングモーターを無償提供しています。マイクロマウス競技は、参加者が製作した自律型ロボットが迷路を探索してゴールに達する最短時間を競う競技です。オリエンタルモーターは、毎年100人の方にステッピングモーターを提供し、マイクロマウス製作に役立てていただいています。

100 人  
ロボットコンテスト  
参加者へのモーター提供



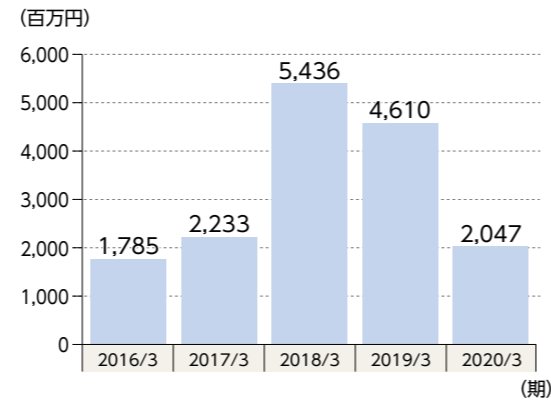
# 財務・非財務ハイライト

## ■ 連結売上高と海外売上比率の推移



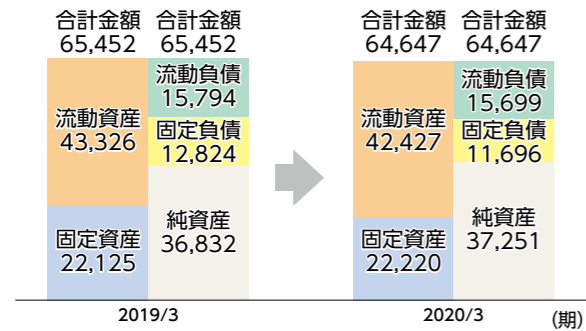
\* 2016年3月期は海外関連会社の決算期変更経過期間のため、海外関連会社は2015年1月から2016年3月の15カ月間で計算しています。

## ■ 連結経常利益の推移



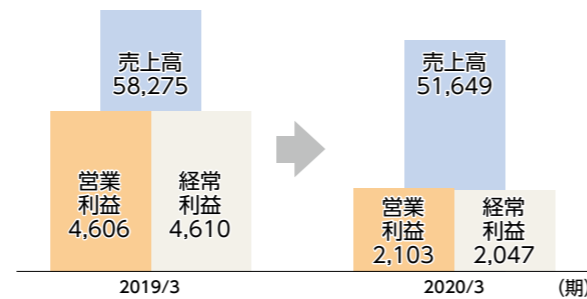
## ■ 連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)

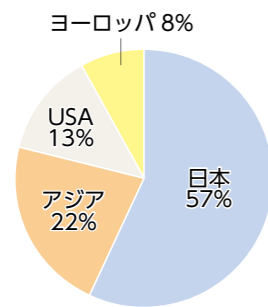


## ■ 連結損益計算書の概要

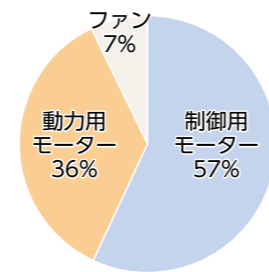
(単位:百万円)



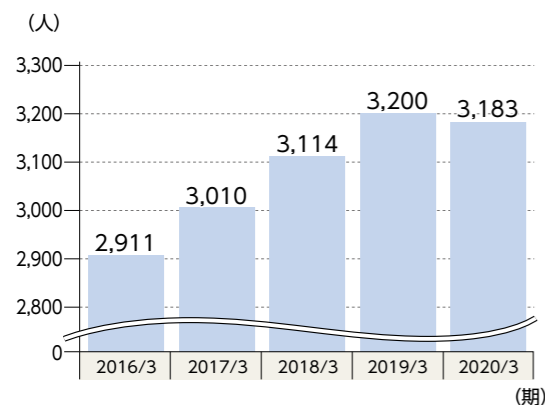
## ■ 地域別連結売上構成比 (2020年3月期)



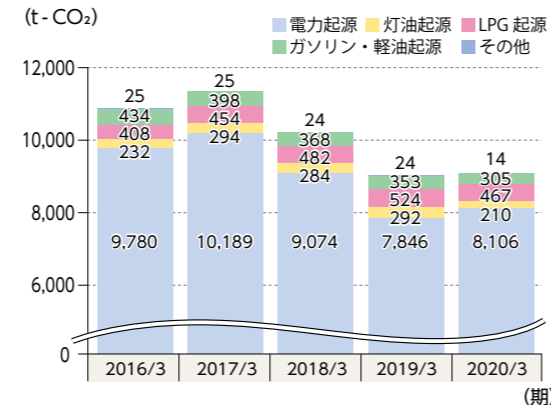
## ■ 事業別連結売上構成比 (2020年3月期)



## ■ 社員数の推移 (3月末時点)



## ■ CO<sub>2</sub>排出量の推移



# 会社概要

会社名: オリエンタルモーター株式会社  
 英文表記: ORIENTAL MOTOR CO., LTD.  
 本社: 東京都台東区東上野 4-8-1  
 代表者: 代表取締役執行役員社長 川人 英二  
 創業: 1885年  
 設立: 1950年  
 資本金: 41億円

売上高: 連結 516億円 (2020年3月期)  
 従業員数: 3,183人 (2020年3月末時点)  
 事業内容: 精密小型モーターおよび制御用電子回路などの開発・製造・販売  
 取引銀行: 千葉銀行 三井住友銀行 三菱UFJ銀行  
 常陽銀行 百十四銀行 荘内銀行  
 秋田銀行 東邦銀行 みずほ銀行

# 拠点一覧

### 【国内】

#### ■ 事業所

- 鶴岡中央事業所
- 鶴岡西事業所
- 相馬事業所
- つくば事業所
- 土浦事業所
- 柏事業所
- 甲府事業所
- 高松西事業所
- 高松国分寺事業所

#### ■ 営業所

- 東京支社
- 北上営業所
- 仙台支店
- 水戸営業所
- 宇都宮営業所
- 北関東支店
- 熊谷営業所
- 八王子支店
- 川崎営業所
- 横浜支店
- 平塚営業所
- 新潟営業所
- 諏訪営業所
- 甲府営業所
- 名古屋支社
- 豊田営業所
- 静岡営業所
- 浜松営業所
- 金沢営業所
- 富山営業所
- 大阪支社
- 京都支店
- 滋賀営業所
- 南大阪営業所
- 兵庫営業所
- 岡山営業所
- 広島営業所
- 九州支店
- 熊本営業所

#### ■ 関連会社

- オリムベクス株式会社
- 営業課
- 仙台営業所
- 郡山営業所
- 鶴岡営業所
- 高崎営業所
- つくば営業所
- 千葉営業所
- 立川営業所
- 横浜営業所
- 大宮営業所
- 甲府営業所
- 上田営業所
- 伊那営業所
- 浜松営業所
- 名古屋営業所
- 三重営業所
- 京都営業所
- 関西営業所
- 大阪営業所
- 高松営業所
- 福岡営業所
- 能代オリエンタルモーター株式会社
- 庄内オリエンタルモーターテック株式会社
- 鶴岡工場
- 酒田工場
- 酒田第2工場
- オリエンタルモーターテック株式会社
- 常総工場
- 相馬テックカンパニー
- オリエンタルモータービジネス株式会社

### 【海外】

#### ■ U.S.A.・カナダ

- ORIENTAL MOTOR U.S.A. CORP.
- 本社・ロサンゼルス オフィス / サンノゼ オフィス / シアトル オフィス / シカゴ オフィス / ダラス オフィス / デトロイト オフィス / トロント オフィス / ポストン オフィス / シャーロット オフィス / ニューヨーク オフィス / フィラデルフィア オフィス / タンパ オフィス

#### ■ ドイツ

- ORIENTAL MOTOR (EUROPA) GmbH
- 本社・デュッセルドルフ オフィス / ミュンヘン オフィス / ハンブルク オフィス / シュトゥットガルト オフィス / フランクフルト オフィス / ニュルンベルク オフィス / ベルリン オフィス

#### ■ イギリス

- ORIENTAL MOTOR (UK) LTD.
- 本社・ベージングストーク オフィス / バーミンガム オフィス

#### ■ フランス

- ORIENTAL MOTOR (FRANCE) SARL
- 本社・パリ オフィス / リヨン オフィス

#### ■ イタリア

- ORIENTAL MOTOR ITALIA s.r.l.
- 本社・ミラノ オフィス / ボローニャ オフィス / ヴェローナ オフィス / パルデノーネ オフィス

#### ■ スイス

- ORIENTAL MOTOR SWITZERLAND AG
- 本社・チューリッヒ オフィス

#### ■ スペイン

- ORIENTAL MOTOR (EUROPA) GmbH SPAIN BRANCH
- マドリッド オフィス

#### ■ 中国

- SHANGHAI ORIENTAL MOTOR CO., LTD.
- 本社・上海 オフィス / 北京 オフィス / 大連 オフィス / 蘇州 オフィス / 杭州 オフィス / 広州 オフィス / 深圳 オフィス / 東莞 オフィス / 武漢 オフィス
- XIAMEN ORIENTAL MOTOR CO., LTD.
- GUANGZHOU ORIENTAL MOTOR CO., LTD.
- SUZHOU ORIENTAL MOTOR CO., LTD.

#### ■ 台湾

- TAIWAN ORIENTAL MOTOR CO., LTD.
- 本社・台北 オフィス / 桃園 オフィス / 新竹 オフィス / 台中 オフィス / 高雄 オフィス

#### ■ 韓国

- INA ORIENTAL MOTOR CO., LTD.
- 本社・インチョン (仁川) オフィス / ソウル オフィス / スウォン (水原) オフィス / チョナン (天安) オフィス / テジョン (大田) オフィス / テグ (大邱) オフィス / クァンジュ (光州) オフィス / プサン (釜山) オフィス

#### ■ シンガポール

- ORIENTAL MOTOR ASIA PACIFIC PTE. LTD.
- 本社 (シンガポール)

#### ■ マレーシア

- ORIENTAL MOTOR (MALAYSIA) SDN. BHD.
- 本社・クアラランパール オフィス / ペナン オフィス

#### ■ タイ

- ORIENTAL MOTOR (THAILAND) CO., LTD.
- 本社・バンコク オフィス / ランブーン オフィス / アユタヤ オフィス / チョンブリー オフィス

#### ■ インド

- ORIENTAL MOTOR (INDIA) PVT. LTD.
- 本社・バンガロール オフィス